

FR 131 T

STIHL



2 - 38 取扱説明書



目次

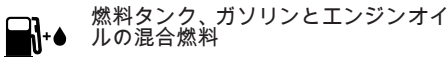
1	はじめに.....	2
2	使用上の注意および作業方法.....	2
3	カッティングアタッチメント、デフレクター —およびハンドルの承認された組み合わせ	11
4	承認されたコンピツール.....	12
5	運転準備.....	12
6	スロットルケーブルの調整.....	14
7	コンピツールの取付け.....	15
8	デフレクターの取り付け.....	15
9	カッティングアタッチメントの取付け.....	16
10	燃料.....	19
11	給油.....	20
12	サポート フレーム.....	21
13	エンジンの始動と停止.....	22
14	機械の運搬.....	25
15	作業中の注意事項.....	26
16	エアフィルター交換.....	27
17	キャブレターの調整.....	27
18	スパーク プラグ.....	27
19	エンジンの動作.....	28
20	ギヤーボックスの注油.....	28
21	フレキシブル シャフトの潤滑.....	29
22	機械の保管.....	29
23	金属製カッティング ブレードの目立て.....	30
24	カッティングヘッドの保守.....	30
25	スチール販売店による点検と保守.....	31
26	整備表.....	32
27	磨耗の低減と損傷の回避.....	33
28	主要構成部品.....	34
29	技術仕様.....	35
30	整備と修理.....	36
31	廃棄.....	36
32	EC 適合証明書.....	37
33	UKCA 適合宣言.....	37

1 はじめに

1.1 シンボルマークについて

機械に表示されているシンボルマークの意味は、本取扱説明書に説明されています。

対象の機種によっては、以下のシンボルマークが機械に表示されている場合があります。



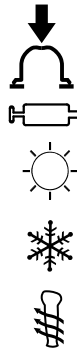
燃料タンク、ガソリンとエンジンオイルの混合燃料



デコンパルブの操作



手動燃料ポンプ



手動燃料ポンプの操作

グリースチューブ

インテークエア： 夏季作業

インテークエア： 冬季作業

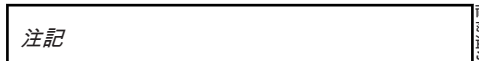
ハンドルヒーター

1.2 段落の前に付いたシンボルや数字



警告

人に及ぼす事故やケガ、更に重大な物的損傷に対する警告。



注記

本機本体あるいは構成部位の損傷に対する警告。

1.3 技術改良

当社の信条として、常に自社製品の改良を心がけております。この理由から、製品の設計、技術、外観が定期的に改良される場合があります。

このため、変更、修正、改良の種類によっては、本取扱説明書に記載されていない場合があります。

2 使用上の注意および作業方法



カッティングアタッチメントが超高速で回転するため、本パワーツールの操作中は、負傷する危険を低減するために特別な安全上の注意事項を遵守する必要があります。



初めて使用するときは取扱説明書をよく読んで理解し、必要ときに参照できるように安全な場所に保管してください。取扱説明書を遵守しないと、重傷または致命傷さえも負うことがあります。

現地で適用される安全規制(業界団体、社会保険機関、労働安全局等が定める規定)にすべて従ってください。

本機を初めて使用する場合: STIHL サービス店または他の経験豊富なユーザーに機械の操作法を教わるか、専門的な研修に参加してください。

詳細な使用説明書には、
印刷オプションには、
注記

© ANDREAS STIHL AG & Co. KG 2022
0458-434-4321-B_VA2.EZ2

未成年者によるパワーツールの操作は許可されていません - ただし、監督者の指示の下で 16 歳以上の未成年者が作業を行う場合は例外です。

子供、動物、見物人を近付けないでください。

機械を使用しないときは、他人に危険が及ばないよう配慮して下に置いてください。機械が無断で使用されないよう対策を講じてください。

第三者の事故/負傷またはその所有物の損壊を防止することは、使用者の責任です。

パワーツールを貸与または譲渡する場合は、取扱説明書を一緒に手渡してください。本機の使用が取扱説明書の記載事項に精通していることを確認してください。

騒音を発する機械の使用が、国、地域、現地の規則によって一日の特定の時間帯に制限されている場合があります。

機械の操作者は、十分に休息をとり、身体的・精神的に健康でなければなりません。

激しい労働に耐えられない体調の方は、かかりつけ医に相談してから機械を使用してください。

ペースメーカー着用者向けの注意点：本機のイグニッションシステムは微弱な電磁界を発生します。その電磁界がペースメーカーに干渉する場合があります。健康上のリスクを低減するために、STIHL 社ではペースメーカー着用者にかかりつけ医やペースメーカー製造業者に相談されることをお勧めしています。

動作を鈍らせるアルコール、薬物、薬剤を服用した状態では、本機を使用しないでください。

装着したカッティングアタッチメントに応じて、パワーツールは芝、雑草、灌木、藪、茂み、径の小さい木々等の切断用のみ使用してください。

本機を他の目的に使用しないでください - 事故が起きる危険があります！

STIHL 社がこのパワーツールを使用することを明示的に承認したか、技術的に同等のカッティングアタッチメントとアクセサリだけを装着してください。ご不明な点は、サービス店にお問い合わせください。事故や本機の損傷を防ぐために、高品質の部品とアクセサリのみを使用してください。

STIHL 社では、STIHL 純正の交換部品とアクセサリの使用をお勧めしています。そうした純正品は製品に適合し、お客様の性能要件を満たすように特別に設計されています。

本機に取り付けたガードは、作業者を回転するカッティングアタッチメントによって飛散する物体（石、ガラス、ワイヤー等）の一部からしか保護

することはできません。物体が飛散し、作業者に当たるおそれがあります。

負傷する危険性が高まるおそれがあるため、いかなる方法であれ、絶対に本パワーツールを改造しないでください。STIHL 社は、承認されていないアタッチメントを使用した際のケガや物的損害に対して一切法的責任を負いません。

本パワーツールの清掃に高圧洗浄機を使用しないでください。強力な水の噴流が、本機の部品を損傷するおそれがあります。

2.1 衣服と装備

適切な防護服と装備を身に付けてください。



丈夫な素材で、身体の動きを一切制限しない衣服を着用してください。ゆったりとした着用ではなく、つなぎ服等の身体にぴったりフィットする衣服を着用してください。

木々、茂み、機械の可動部品にからまるおそれがある衣服は着用しないでください。スカーフ、ネクタイ、装身具は身に付けしないでください。機械に吸い込まれないよう、長髪は結び、肩の上でまとめてください。



靴底が滑らない、爪先に鋼板の入った安全靴を履いてください。

草刈ヘッドを使用する場合に限り、靴底が滑らない頑強な作りの靴も着用できます。



警告



目を負傷する危険を低減するために、European Standard(欧州基準) EN 166 に準拠した、確実にフィットする保護メガネを着用してください。保護メガネが適切にフィットしていることを確認してください。

フェイスシールドを着用し、適切にフィットしているか確認してください。フェイスシールドだけでは眼を十分に保護できません。

間伐作業や高い茂みで作業を行うときや、落下物で頭部を負傷する危険があるときは、安全ヘルメットを着用してください。

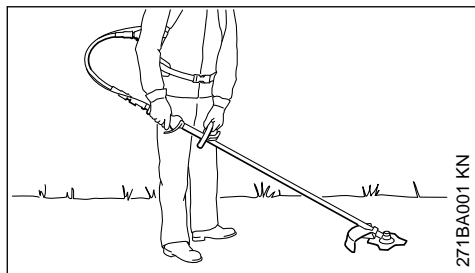
「個人」用のイヤープロテクター（例えばイヤーマフ）を着用してください。



耐性素材（革等）でできた丈夫な保護手袋を着用してください。

STIHL 社では、さまざまな防護服や防護装備を取り揃えております。

2.2 機械の運搬



約 50 m を超える距離の運搬時には、エンジンを切ってください。

パワーツールは通常の作業位置で運搬します：パワーツールを背負い、ループハンドルを左手で持ち、コントロールハンドルを右手で持ち（左利きの場合も同様）、カッティングアタッチメントを地面近くまで下げます。

切傷を負う危険を低減するために、短距離を運搬する場合でも、カッティングアタッチメントに運搬用ガードを取り付けてください。「機械の運搬」も参照してください。



機械の高温の部品やギャボックスには触れないでください。火傷をするおそれがあります！

車両輸送：転倒、損傷、燃料漏れを防ぐためにパワーツールを適切に固定してください。

2.3 給油



ガソリンは可燃性が極めて高い液体です - 火気を近付けないでください。燃料をこぼさないでください。喫煙しないでください。

必ずエンジンを切ってから給油してください。

エンジンが高温のときは給油しないでください - 燃料がこぼれ、火災が生じる危険があります。

タンク内の高圧が徐々に抜け、燃料が噴き出さなくなるよう、燃料キャップは慎重に開けてください。

必ず換気の良い場所で給油してください。燃料がこぼれたときは、直ちに機械を清掃してください - 燃料が衣服にはね飛ばないように注意してください。燃料が衣服に付着したときは、速やかに着替えてください。



給油後は、燃料タンクキャップをしっかりと閉めます。

確実に閉めると、燃料タンクキャップがエンジンの振動によって緩むか外れ、大量の燃料が漏れ出す危険が低減されます。

漏れの有無を確認します。燃料が漏れている場合はエンジンを始動しないでください - 重度の火傷または致命的な火傷を負うおそれがあります！

2.4 作業開始前

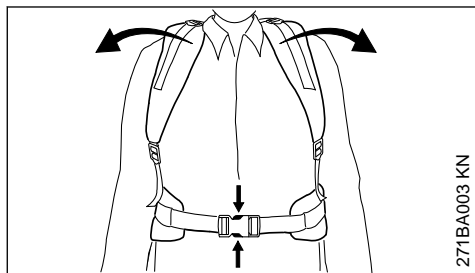
パワーツールが適切に組み立てられ、正常な状態になっているか点検します。本取扱説明書の関連する章を参照してください。

- 燃料システム、特に燃料タンクキャップ、ホースコネクター、手動燃料ポンプ（手動燃料ポンプ付きの機械のみ）等の目視が可能な部品が漏れていないか点検します。漏れや損傷を発見した場合は、エンジンを始動しないでください - **火災が起きる危険があります！** サービス店で機械を修理してから再使用してください。
- 組み合わせが承認されているカッティングアタッチメント、デフレクターおよびハンドルのみを使用します。すべての部品は、適正かつ確実に組み立てられている必要があります。
- 停止スイッチは容易に押すことができなければなりません。
- チョークレバー、スロットルトリガー、スロットルトリガーロックアウトがスムーズに作動するか点検します。スロットルトリガーは自動的にアイドル位置に戻らなければなりません。スロットルトリガーロックアウトとスロットルトリガーを握ると、チョークレバーが **I** と **II** の位置から運転位置 **I** に戻らなければなりません。
- スパークプラグターミナルがしっかりと差し込まれているか点検します。緩んでいる場合は火花が発生し、可燃性のガスに引火し、**火災が発生するおそれがあります！**
- カッティングアタッチメントまたは交換用アタッチメント：適正に取り付けられ、しっかりと固定されており、完璧な状態にあるか確認します。
- 安全装置（カッティングアタッチメント用デフレクター、ライダープレート等）に損傷や摩耗がないか点検します。損傷した部品は、必ず交換してください。損傷したデフレクターや摩耗したライダープレート（文字や矢印が確認不能）を取り付けたまま作業しないでください。
- 絶対に操作部や安全装置を改造しないでください。
- ハンドルは乾いた清潔な状態（オイルや汚れが付着していない状態）に保ちます。これは、機械を安全に操作するために重要です。

- 身長と手の長さに合わせてストラップとループハンドルを調整します。「バックパックの取り付け」の章を参照してください。
- キャリングシステムとストラップの状態を点検します。損傷や摩耗が生じている場合は、交換してください。

負傷する危険を低減するために、損傷したパワーツールや適切に組み立てられていないパーツは使用しないでください！

緊急時：腰ベルトの留め具を外し、肩掛けベルトを緩め、本機を背中から下ろす動作を迅速にできるように練習してください。この練習中は、機械を地面に投げ降ろさないでください。機械が損傷するおそれがあります。



271BA003 KN

2.5 エンジンの始動

給油場所から 3 m 以上離れた場所でエンジンを始動します。屋外に限ります。

パワーヘッドを障害物のない安定した地面に置きます。バランスと安定した足場を確保してください。パワーヘッドをしっかりと保持します。エンジン始動時に作動するおそれがあるため、カッティングアタッチメントを地面や他の障害物に接触させないでください。「エンジンの始動/停止」の章に記載されている情報に従ってください。

本機は一人で操作してください。機械から半径 15 m 以内には第三者を立ち入らせないでください。始動時と同様です！飛散物で**負傷する危険があります！**



カッティングアタッチメントに触れないでください。**負傷する危険があります！**

エンジンの落としがけをしないでください。取扱説明書に従って始動してください。



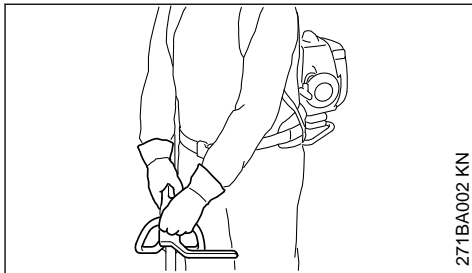
スロットルトリガーを放した後、カッティングアタッチメントがしばらく回転し続けます。**慣性回転効果によるものです！**

エンジンのアイドルリングを点検します：(スロットルトリガーを放した)エンジンのアイドルリング

中は、カッティングアタッチメントは静止していなければなりません。

火災が生じる危険を低減するために、燃えやすい物(木屑、樹皮、枯れ草、燃料等)は高温の排気ガスや高温のマフラー表面に近付けないでください。

2.6 機械の保持と操作



271BA002 KN

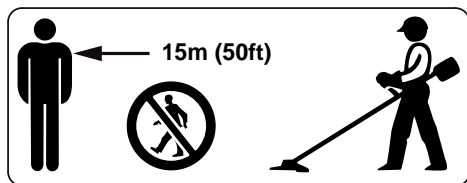
バランスと安定した足場を確保してください。

パワーヘッドを背負って運搬します。**負傷する危険を低減するために、始動後、カッティングアタッチメントが回転していないことを確認してから、パワーヘッドを背負います。**

ドライブチューブは必ず両手で確実に保持します。右手でコントロールハンドルを握り、左手でループハンドルを握ります。ドライブチューブは常に身体の右側に来るよう注意します。左利きの方も同様です。

2.7 作業時

危険が差し迫っている場合や緊急時は、停止スイッチを押して速やかにエンジンを切ってください。



飛散物によって**負傷する危険を低減するために、作業者以外は半径 15 m 以内に立ち入らせないでください。**その距離は、物体(車両、窓ガラスなど)に対しても維持する必要があります。**物的損害が生じる危険があります！**

エンジンが適切なアイドルリング状態になるか点検します。スロットルトリガーを放すと、カッティングツールは停止しなければなりません。定期的にアイドル回転数の設定を点検し、修正してください。アイドルリング回転時にもカッティン

グアタッチメントが回転する場合は、サービス店に調整または修理を依頼してください。STIHL 社では、本作業を STIHL サービス店で実施されることをお勧めしています。

滑りやすい場所では、特に注意してください。例えば濡れた面、雪や氷で覆われた面、斜面、凸凹のある地面。

障害物に注意します：樹木の切り株や根。つまずく危険があります！

バランスと安定した足場を確保してください。

絶対にはしごや木に登って作業しないでください。

パワーツールは絶対に片手で操作しないでください。

イヤープロテクターを着用している場合は、危険を告げる声（叫び声、警笛等）が聞こえにくくなるため、通常よりもさらに注意が必要です。

疲労を感じたときは休憩を取ってください - 事故が起こるおそれがあります！

冷静かつ慎重に作業を行ってください - 日中の視界が十分なき以外は作業を行わないでください。慎重に作業を進め、他者に危険が及ばないように配慮してください。



エンジンが始動するとすぐに、パワーツールから有毒な排気ガスが発生します。排気ガスは無臭で目に見えない場合があります、未燃焼の炭化水素とベンゼンが含まれているおそれがあります。屋内や換気状態の悪い場所では、絶対にエンジンをかけないでください。触媒コンバータが装着されている機種でも同様です。

有毒ガスを吸い込んで重傷または致命傷を負う危険を低減するために、溝、くぼ地、他の狭い場所での作業時は適切に換気してください。これにより、有毒ガスを吸引することによる重傷や致命傷を負う危険を低減できます。

吐き気、頭痛、視覚障害（視野狭窄等）、聴覚障害、めまい、注意散漫が生じた場合は、直ちに作業を中止してください。濃度が非常に高い排気ガスを吸い込むと、そうした症状が現れる場合があります。事故が生じるおそれがあります！

機械は、騒音と排気ガスの発生が最小限になるように操作してください - 不必要にエンジンをふかさず、作業時のみエンジンを加速してください。

火災の危険を低減するために、作業中や機械の付近では喫煙は避けてください。燃料システムから可燃性の気化燃料が漏れ出すおそれがあります。

作業中に発生する塵埃、ガス、噴煙は健康を害することがあります！大量の粉塵または噴煙が発生する場合は、呼吸保護具を着用してください。

パワーツールに設計強度を超える異常な負荷が加わった（強い衝撃が加わるか、落下した）場合、必ずパワーツールが正常かどうか点検してから作業を続けてください（「作業開始前」を参照）。

特に燃料システムが漏れていないか点検し、安全装置が完全に作動しているか確認してください。安全に操作できなくなったパワーツールは、絶対に使用しないでください。不明な場合は、販売店にお問い合わせください。

始動スロットル位置でパワーツールを操作しないでください。この位置ではエンジン回転を制御できません。



飛散物によって負傷する危険を低減するために、使用するカッティングアタッチメントに合ったデフレクターが装着されていない場合は、絶対に作業を行わないでください。



作業エリアを点検してください。岩、金属の物体等は挟まり、飛散するおそれがあります。負傷する危険があります！ - カッティングアタッチメントや他の器物（駐車中の車両、窓等）を損傷させることもあります。

作業が困難な、繁茂した場所での作業時は特に注意してください。

背の高い植え込み、植え込みの下側、生垣を刈払うとき：動物を害を及ぼさないよう、カッティングツールを 15 cm 以上の高さで保持します。

機械から離れる前に：必ずエンジンを切ってください。

カッティングアタッチメントは定期的かつ頻繁に点検し、明らかな変化に気付いたときはすぐに点検します：

- エンジンを切り、機械を確実に保持し、カッティングアタッチメントが停止するまで待ちます。
- 状態と固定具合を点検し、亀裂の有無を確認します。
- カッティングブレードが鋭利な状態が確認します。
- 損傷するか、切れ味が悪くなったカッティングアタッチメントは直ちに交換してください。表面的な亀裂が生じていない場合も同様です。

カッティングアタッチメントの取り付け部から定期的に草木の切れ端を取り除きます - カッティングアタッチメントとデフレクターに蓄積した異物は、取り除いてください。

ケガの危険を低減するために、エンジンを停止させてからカuttingアタッチメントを交換してください。



作業中はギヤボックスが高温になります。絶対にギヤボックスに触れないでください。火傷をする危険があります！

2.8 草刈ヘッドを使用する場合

取扱説明書に記載されている追加部品を装着してデフレクターを強化します。

ナイロンラインが承認されている長さに制限されるよう、ブレードが適切に取り付けられたデフレクターだけを使用してください。

必ずエンジンを切ってから手動調整式草刈ヘッドを調整してください。負傷する危険があります！

長すぎるナイロンラインを使用すると、エンジンの回転数が低下します。常にクラッチが滑ると、例えばイドリング時のカuttingアタッチメントの回転によって重要部品（クラッチ、プラスチックハウジング部品等）が過熱したり、損傷したりします。負傷する危険があります！

2.9 金属製カuttingアタッチメントを使用する場合

STIHL 社では、STIHL 純正の金属製カuttingアタッチメントの使用をお勧めしています。そうした純正品は、機械とお客様の要件に対して最適化されています。

金属製カuttingアタッチメントは超高速で回転し、発生する力がアタッチメントと切断物に加わります。

金属製カuttingアタッチメントは、規定に従って定期的に目立てしてください。

均一に目立てされていない金属製カuttingアタッチメントはアンバランスになり、機械に極端に大きな負荷が加わることがあります。損傷する危険があります！

切れ味の悪い刃先や目立てが不適切な刃先はカuttingアタッチメントの負荷を高め、部品の亀裂や破損によって負傷する危険を増大させることがあります。

硬い障害物（石、岩、金属片等）に接触した後は、毎回、金属製カuttingアタッチメントに損傷（亀裂や変形等）が生じていないか点検してください。負傷する危険を低減するために、バリや他の目に見える付着物は取り除いてください。それらは、作業中に剥がれて高速で飛散することがあります。

回転する金属製カuttingアタッチメントが岩や他の硬い物体に当たると、火花が発生し、可燃物が引火する可能性があります。特に乾燥した高温の気候下では、枯れた植物や茂みも引火します。火災の危険がある場合、可燃物、枯れた植物、茂みの付近で金属製カuttingアタッチメントを使用しないでください。火災が生じる危険性の最新情報に関して、必ず管轄森林管理事務所にお問い合わせください。

損傷や亀裂が生じたカuttingアタッチメントを引き続き使用したり、溶接、矯正、形状変更による修理を試みたりしないでください（アンバランスな状態を引き起こします）。

破片が高速で飛散して作業員や見物人に当たるとおそれがあります。重傷を負う危険があります！

金属製カuttingアタッチメント使用時に上記の危険を低減するために、直径が大きすぎる金属製カuttingアタッチメントを使用しないでください。重すぎるカuttingアタッチメントも使用しないでください。高品質の素材で製造され、適切な形状（外形、厚み）でなければなりません。

ケガの危険を低減するために、STIHL 製以外の金属製カuttingアタッチメントを使用するときは、STIHL 社が本パワーツールモデル用に承認した最大の金属製カuttingアタッチメントと比較して重量、厚み、直径がそれを上回っている製品や、形状が異なっている製品は使用しないでください。

2.10 振動

チェンソーを長時間使用した場合には、振動の影響により手の血行不良が生じることがあります（「白ろく病」）。

以下をはじめ、多くの事柄が影響するため、一般的な使用時間の設定は不可能です。常に各国の安全規制、基準、条例をお守りください。

以下の対策をとると使用時間を延長できます：

- 手の防護（暖かい手袋）
- 休憩を取りながら作業する

以下の場合には使用時間を短くします：

- 血行不良の特殊体質（症状：指が頻繁に冷たくなる、指が疼く）。
- 低い外気温。
- ハンドルを握む力の強さ（握む力が強いと血行が低下します）。

機械を日常的に長時間使用したり、該当する症状（指のしびれ等）が繰り返し発症する時は、医師による診断をお勧めします。上記のいずれかの症

状が現れたら(指が疼くなど)、医師にご相談ください。

2.11 整備と修理

定期的に本機を整備してください。取扱説明書に書かれている整備や修理だけを行ってください。その他すべての作業は STIHL サービス店に依頼してください。

当社では整備や修理を、認定を受けた STIHL サービス店のみに依頼されることをお勧めします。STIHL サービス店には定期的にトレーニングを受ける機会が与えられ、必要な技術情報の提供を受けています。

高品質の交換部品のみを使用して、事故および本機の損傷を回避してください。これに関して不明な点がある場合は、STIHL サービス店へお問い合わせください。

当社では STIHL 純正の交換部品のご使用をお勧めします。これらは、お客様の機種およびご使用になる性能要件に合わせて、特別に設計されています。

不意にエンジンが始動してケガをする危険性を軽減するために、修理、保守、および清掃作業前に常にエンジンを停止して、**スパークプラグターミナルを取り外してください。** - 例外: キャブレターおよびアイドルリング回転数の調整時は例外です。

スパークプラグターミナルまたはスパークプラグを外した状態で、スターターでエンジンを始動しないでください。火花を抑制できずに**火災が発生する危険性**があります。

火災の危険性を回避するため、火気の近くで修理したり、保管したりしないでください。

燃料フィルターキャップにもれがないか定期的に点検してください。

当社で承認されたタイプのスパークプラグだけを使用して、支障なく作動することを確認してください(「技術仕様」の項を参照)。

イグニッションケーブルに異常がないこと(良好な絶縁状態、接続の確実性)を確認してください。

マフラーに異常が無いことを確認してください。

火災の危険や聴覚障害を避けるために、破損したマフラーを取付けたまま、あるいはマフラーがないまま作業しないでください。-

高温のマフラーに触れて、**火傷**しないようにしてください。

振動の強さは、防振部品の状態に左右されますので、定期的に防振部品を点検してください。

2.12 デフレクター上の記号

デフレクターの**矢印**は、カッティングアタッチメントの適正な回転方向を示しています。

以下の記号の一部がデフレクターの外側に付いており、承認されたカッティングアタッチメントとデフレクターの組み合わせであることを示します。



デフレクターは草刈ヘッドと使用することができます。



デフレクターは草刈ヘッドと使用してはなりません。



デフレクターは草刈ブレードと使用することができます。



デフレクターは草刈ブレードと使用してはなりません。



デフレクターはブラッシュナイフと使用することができます。



デフレクターはブラッシュナイフと使用してはなりません。

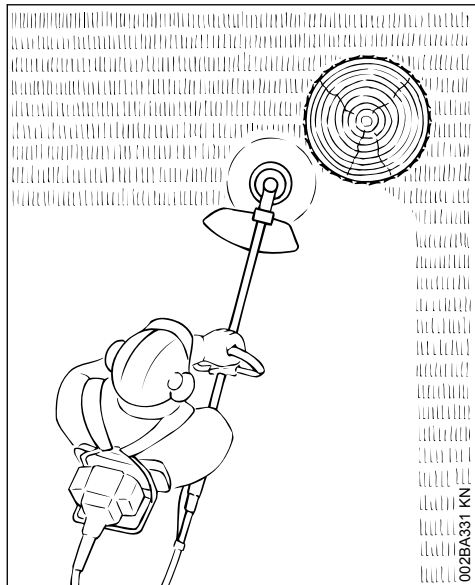


デフレクターはシュレッダーブレードと使用してはなりません。



デフレクターはサーキュラーソーブレードと使用してはなりません。

2.13 ナイロンラインを装備した草刈ヘッド



ナイロンラインにより、木やフェンス柵などの周囲の縁取りやトリミングをきれいに仕上げるためのソフトカットが可能です - 樹皮はほとんど傷付きません。

草刈ヘッドには取扱説明書が付属しています。取扱説明書の説明に従い、草刈ヘッドにナイロンラインを取り付けます。



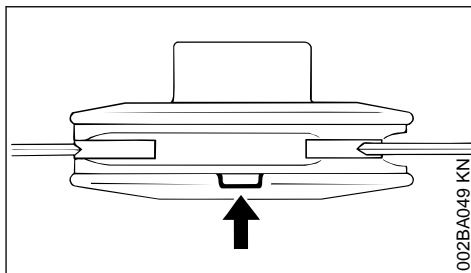
警告

ナイロンラインの代わりに鉄製ワイヤーを絶対に使用しないでください。重度の傷害の危険があります。

2.14 ポリマー ブレード付きスチール ポリカット カuttingヘッド

牧草の茂った草木の刈り込み用(生垣、フェンス、木々などの障害物がない場合)

磨耗限度マークに注意してください！



ポリカット Cuttingヘッドの磨耗限度マークの1つでも、ベース側に穴(矢印)があいた場合: Cuttingヘッドの使用を中止してください。新品と交換してください。そうしないと、Cuttingヘッドからの飛散物でケガする危険があります。

ポリカット Cuttingヘッドの整備に関する注意事項を遵守してください。

ポリカットには、ポリマー ブレードの代わりにCuttingラインを装備することもできます。

Cuttingヘッドには取扱説明書が付属しています。取扱説明書に従い、Cuttingヘッドにポリマー ブレードまたはナイロンラインを取り付けます。



警告

ナイロン製Cuttingラインの代わりにワイヤーを絶対に使用しないでください - ケガをする危険があります。

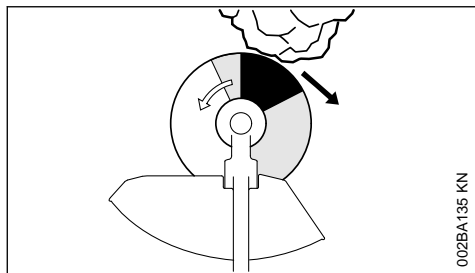
2.15 金属製Cuttingアタッチメントの使用時の、キックバック(ブレードスラスト)の危険



警告



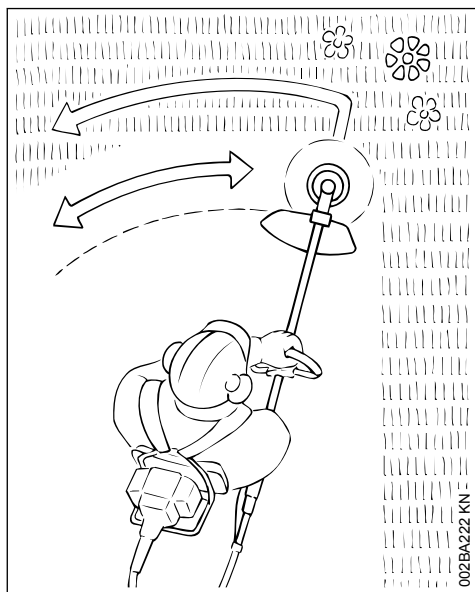
金属製Cuttingアタッチメントを使用する場合、回転しているブレードが硬い障害物(木の根や枝、切り株、石など)に当たるとキックバックの危険があります。機械は、アタッチメントの回転方向と反対の、右または後方に跳ね返ります。



002BA135 KN

回転しているカッティングアタッチメントが黒い色の範囲で硬い障害物に当たった場合、キックバックの危険性が一層高まります。

2.16 草刈ブレード



002BA222 KN

芝や雑草のみに使用します - 鎌のように円弧状に刈払機を振ります。



警告

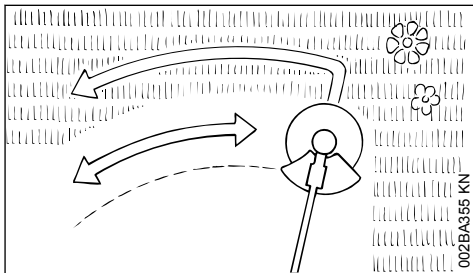
不適切に刈払機を使用すると、草刈ブレードを損傷することがあります - 破損部分でケガをする危険があります。

草刈ブレードの切れ味が明瞭に低下した場合は、規定通りに目立てください。

2.17 ブラシナイフ

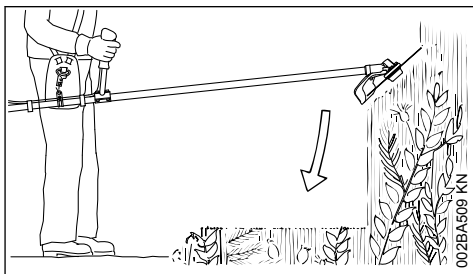
一面に生い茂った草、雑草と低木、幹の直径 2 cm 未満の幼木の切断に適しています - これより太

い幹を切断しないでください - 事故の危険があります。



002BA355 KN

芝刈及び幼木の間伐時には、地面と同じ位置で鎌のように刈払機を動かしてください (左右に動かす)。



002BA509 KN

雑草および低木を切る場合、シュレッダー効果を得るために、ブラシナイフを草木の上から下ろしてください - この過程では、カッティングアタッチメントを必ず腰より下のレベルに維持してください。

この方法で切る場合、特別に注意を払ってください。カッティングアタッチメントを地面から離せば離すほど、飛散物が吹き飛んでケガをする危険性が高まります。

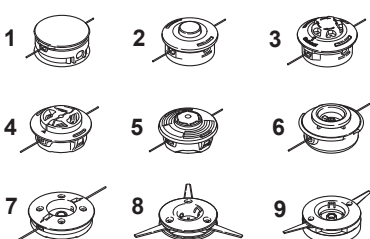
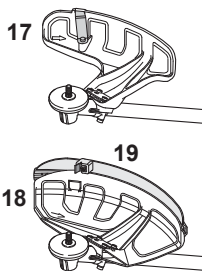
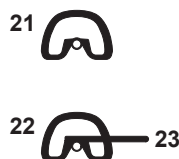
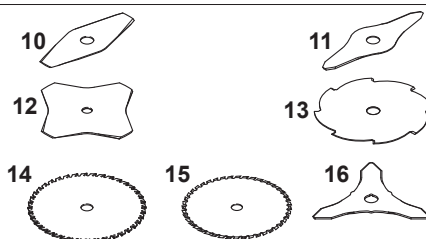


警告！ 不適切なブラシナイフの使用により、ナイフが割れたり欠けたり破損することがあります - 破損部分でケガをする危険があります。

ケガの危険を低減するため、以下に注意してください：

- 石、岩、金属片などの固い障害物に当てないようにしてください。
- 直径 2 cm 以上の樹木や低木を切らないでください - このような作業には、サーキュラソーブレードを使用してください。
- ブラシナイフに損傷がないか頻繁に定期的に点検してください。損傷したブラシナイフは使用しないでください。
- 切れ味が低下した場合や定期的なメンテナンスで、ブラシナイフを目立てください、必要な場

合はバラシグしてください (STIHL サービス店でされることを、お勧めします)。

3 カutting アタッチメント、デフレクターおよびハンドルの承認された組み合わせ

カuttingツール	デフレクター	ハンドル
 <p>1 2 3 4 5 6 7 8 9</p>	 <p>17 18 19</p>	 <p>21 22 23</p>
 <p>10 11 12 13 14 15 16</p>	 <p>20</p>	 <p>22 23</p>

3.1 承認された組み合わせ

カuttingツールに応じて、表から適切な組み合わせを選択してください！



警告

安全上の理由から、表の各行に表示されているカuttingツール、デフレクターおよびハンドルの組み合わせだけを使用してください。これ以外の組み合わせは許可されていません - **事故の危険があります！**

3.2 カuttingツール

3.2.1 草刈ヘッド

- 1 STIHL SuperCut 20-2
- 2 STIHL AutoCut 25-2 / AutoCut 27-2
- 3 STIHL AutoCut C 25-2
- 4 STIHL AutoCut C 26-2
- 5 STIHL AutoCut 36-2
- 6 STIHL TrimCut 31-2
- 7 STIHL DuroCut 20-2
- 8 STIHL PolyCut 20-3

9 STIHL PolyCut 28-2

3.2.2 金属製カuttingツール

- 10 草刈ブレード 230-2 (直径 230 mm)
- 11 草刈ブレード 260-2 (直径 260 mm)
- 12 草刈ブレード 230-4 (直径 230 mm)
- 13 草刈ブレード 230-8 (直径 230 mm)
- 14 草刈ブレード 250-40 スペシャル (直径 250 mm)
- 15 草刈ブレード 250-44 (直径 250 mm)
- 16 ブラッシュナイフ 250-3 (直径 250 mm)



警告

非金属製草刈ブレードおよびブラッシュナイフは承認されていません。

3.3 デフレクター

- 17 草刈ヘッド用デフレクター
- 18 デフレクター (以下の品目付き)
- 19 草刈ヘッド用スカートおよびナイフ
- 20 デフレクター、金属製カッティングツール用スカートおよびナイフなし

3.4 ハンドル

- 21 ループハンドル (EU 以外の国のみ)
- 22 ループハンドル (以下の品目付き)
- 23 スターラップ (バリアバー)

4 承認されたコンビツール

コンビツールは、STIHL コンビシステムのパワーツールアタッチメントです。

STIHL 社が供給するか、STIHL 社が書面により特定機種との使用を承認したコンビツールのみを使用してください。

分離ドライブチューブ付きの STIHL 刈払機 (T モデル) には、次のコンビツールのみを装着できます。

コンビツール

	用途
FS-KM ⁴⁾	草刈ヘッド付き刈払機
FS-KM ^{1) 4)}	草刈ブレード付き刈払機
HL-KM 145°	ロングリーチヘッジトリマー、調整可能型
HL-KM 0° ³⁾	ロングリーチヘッジトリマー
FH-KM 145°	グランドヘッジャー、調整可能型
BG-KM	ブロワー
HT-KM	高枝カッター
BF-KM	カルチベータ、ピックタイプ
FCB-KM ²⁾	エッジャー
FCS-KM ⁴⁾	エッジャー

¹⁾ 機械に付属しているバリアバーをループハンドルに使用してください - 「ループハンドルの取り付け」を参照。

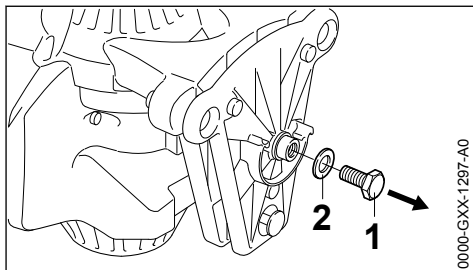
²⁾ カーブドライブチューブ付きバージョン

³⁾ 人間工学的な理由から、あまり適していません。

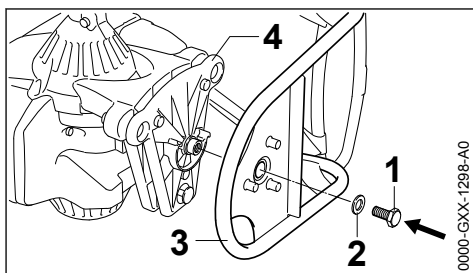
⁴⁾ ストレートドライブチューブ付きバージョン

5 運転準備

5.1 サポートフレームの取り付け



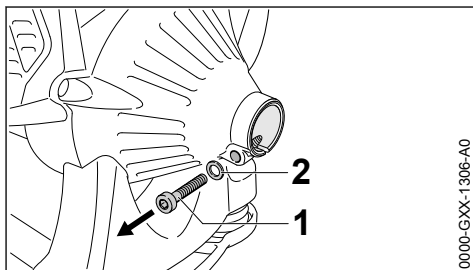
▶ スクリュー (1) を緩め、ワッシャー (2) と共にパワーヘッドから取り外します。



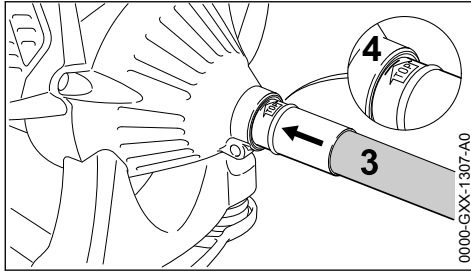
▶ パワーヘッドとサポートフレームを図示されている位置に合わせます。

▶ スクリュー (1) をワッシャー (2) と共に差し込み、しっかりと締め付けます。

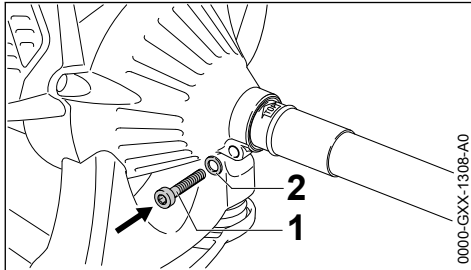
5.2 フレキシブルシャフトの取り付け



▶ スクリュー (1) を緩め、ワッシャー (2) と共に取り外します。



- ▶ シャフトからプロテクトキャップを取り外します。
- ▶ フレキシブルシャフトをパワーヘッド (4) 内に完全に押し込みます - シャフトを左右に回転させながら押してください。
- ▶ フレキシブルシャフトの位置を合わせます - "Top"の文字を上側に向けてください。

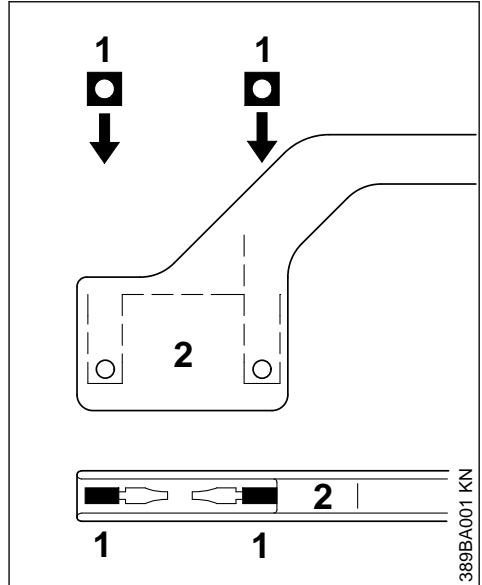


- ▶ スクリュー (1) をワッシャー (2) と共に差し込み、しっかりと締め付けます。

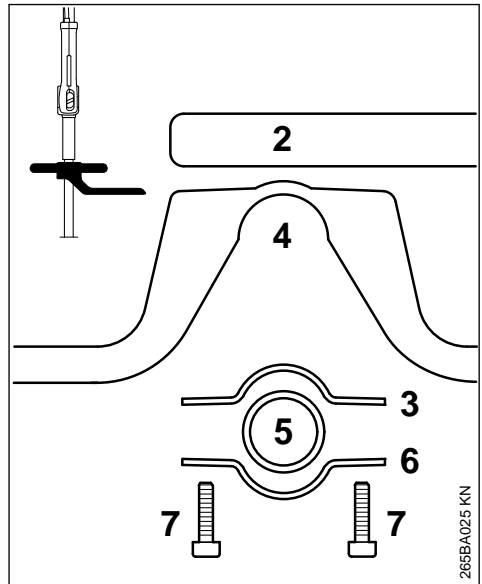
5.3 ループハンドルの取り付け (バリアバー使用時)

市場の要件や使用するカッティングアタッチメントに合わせて、バリアバーをループハンドルに取り付ける必要があります - 「組み合わせ可能なカッティングアタッチメント、デフレクターおよびハンドル」を参照してください。

バリアバーは機械に標準装備されているか、特殊アクセサリとして入手することができます。



- ▶ 四角ナット (1) をバリアバー (2) に取り付けます - 穴の位置を合わせてください。

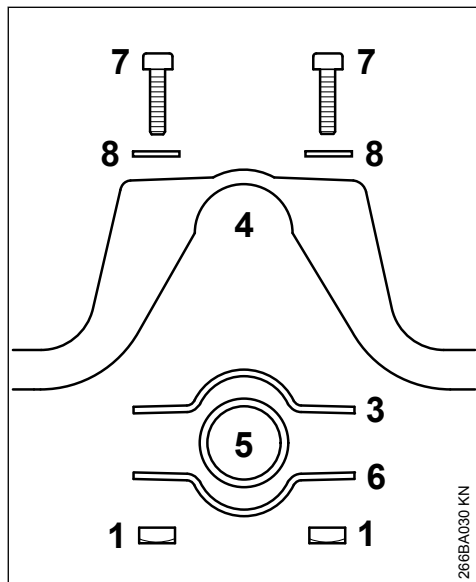


- ▶ クランプ (3) をループハンドル (4) に合わせ、それらをシャフト (5) に当てます。
- ▶ クランプ (6) をシャフトに位置決めします。
- ▶ バリアバー (2) を図示されている位置に配置します。
- ▶ 穴の位置を合わせます。

- ▶ スクリュー (7) を穴に差し込み、当るまでバリアパーにねじ込みます。
- ▶ 「ループハンドルの固定」を参照してください。

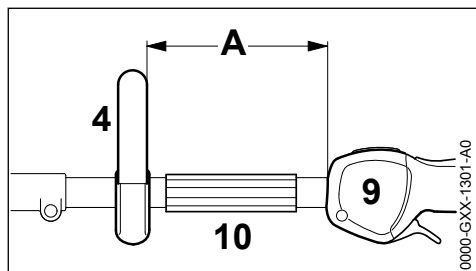
バリアパーはループハンドルに取り付けた状態にしておきます。

5.4 ループハンドルの取り付け (バリアパー不使用時)



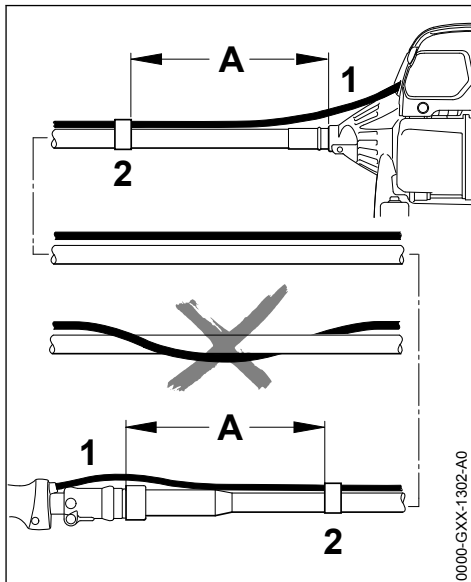
- ▶ クランプ (3) をループハンドル (4) に合わせ、それらをシャフト (5) に当てます。
- ▶ クランプ (6) をシャフトに位置決めします。
- ▶ 穴の位置を合わせます。
- ▶ ワッシャー (8) を通し、スクリュー (7) を穴に差し込みます。
- ▶ 四角ナット (1) を止まるまでスクリュー (7) にねじ込みます。
- ▶ 「ループハンドルの固定」を参照してください。

5.5 ループハンドルの固定

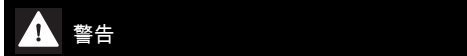


- ▶ ループハンドル (4) をコントロールハンドル (9) の前方、約 20 cm/8 in(A) の位置で固定します。
- ▶ ループハンドルの位置を合わせます。
- ▶ スクリューをしっかりと締め付けます - 必要な場合はナットをロックします。

5.6 スロットルケーブルの固定



- ▶ シャフトの両端から約 20 cm / 8 in(A) の位置でスロットルケーブル (1) を 2 個のケーブルリテーナー (2) に押し込みます。



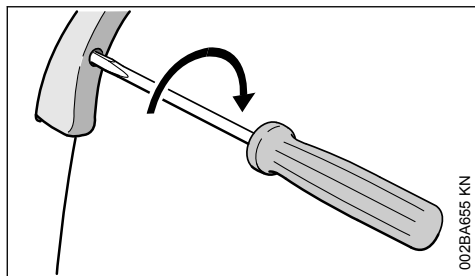
スロットルケーブル全体をフレキシブルシャフトに平行に配置する必要があります。スロットルケーブルはフレキシブルシャフトに巻き付けないでください。

- ▶ 「スロットルケーブルの調整」を参照してください。

6 スロットルケーブルの調整

本機の組み立ておよび長期間の運転後に、スロットルケーブルの調整を修正することが必要になる場合があります。

本機が完全に適正に組み立てられた後に、スロットルケーブルを調整してください。



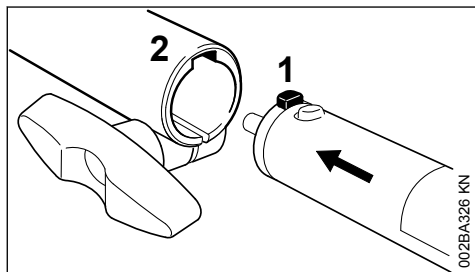
002BA655 KN

- ▶ スロットルトリガーをフルスロットル位置に設定します。
- ▶ スロットルトリガーのスクリューを、最初に手ごたえを感じるまで慎重に矢印の方向に回します。さらに同じ方向に半回転回します。

7 コンビツールの取付け

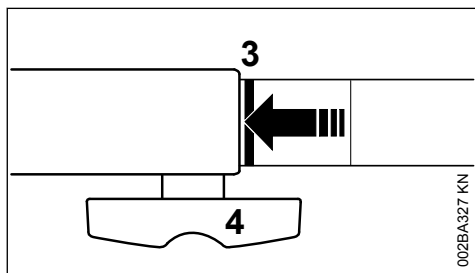
スチール刈払機の機種モデルで記号に文字 T が付いたものには、スチール コンビツール取り付け用分割ドライブ シャフトが付いています。

7.1 コンビツールの取り付け



002BA326 KN

- ▶ ドライブ チューブの突出部 (1) をカップリングスリーブのスロット (2) に、止まるまで押し込みます。



002BA327 KN

適切に取り付けると、赤線 (3) (矢印で示した部分) がカップリングスリーブの端とぴったり重なります。

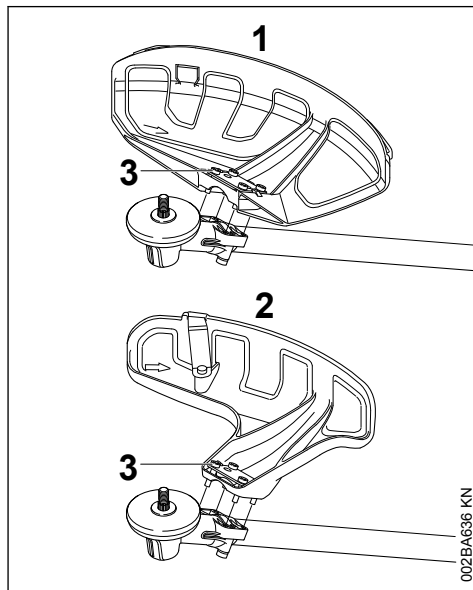
- ▶ スターノブ (4) をしっかり締め付けます。

7.2 コンビツールの取り外し

- ▶ ドライブ チューブを取外すには、上記と逆の手順を行います。

8 デフレクターの取り付け

8.1 デフレクターの取り付け



002BA636 KN

- 1 カuttingアタッチメント用デフレクター
- 2 草刈ヘッド用デフレクター

デフレクター (1 および 2) は両方とも、ギアボックスに同様に取り付けます。

- ▶ デフレクターをギアボックスフランジ上に置きます。
- ▶ スクリュー (3) を差し込み、しっかり締め付けます。

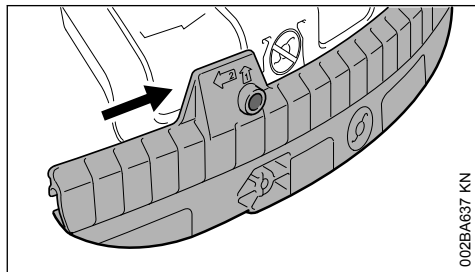
8.2 スカートとブレードの取付け



警告

飛散物やカuttingアタッチメントとの接触によって負傷する危険があります。草刈ヘッドを使用するときは、必ずスカートとブレードをデフレクター (1) に取り付けてください。

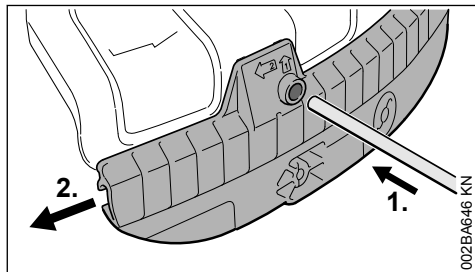
8.3 スカートの取付け



002BA637 KN

- ▶ スカートの下側ガイドスロットをスライドさせ、デフレクターにはめ込みます。

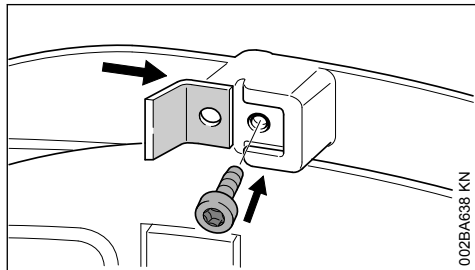
8.4 スカートの取り外し



002BA646 KN

- ▶ スカートの穴にストップピンを挿入し、そのピンを使用してスカートを左側に押しします。
- ▶ デフレクターからスカートを引き抜きます。

8.5 ブレードの取付け



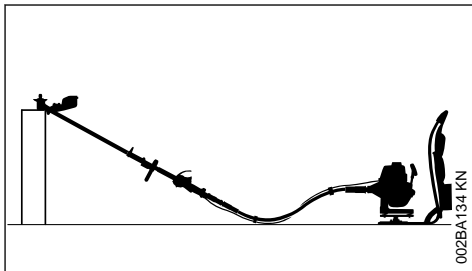
002BA638 KN

- ▶ ライン制限ブレードをスライドさせ、スカート上のガイドに取り付けます。

- ▶ スクリューを差し込み、しっかりと締め付けます。

9 カutting アタッチメントの取付け

9.1 パワーツールを地面に置く



002BA134 KN

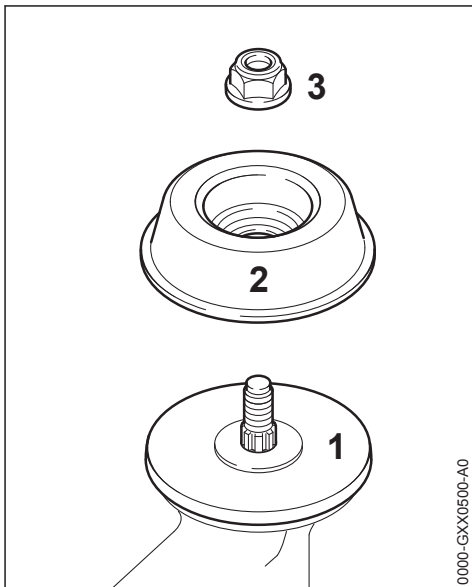
- ▶ エンジンを停止します。
- ▶ カuttingアタッチメント装着部が上向きになるように、パワーツールを配置します。

9.2 カuttingアタッチメント取り付け用部品

納入される取り付け用部品は、新しい機械に付属するカuttingアタッチメントによって異なります。

9.2.1 取り付け用部品が同梱されている機械

草刈ヘッドと金属製カuttingアタッチメントを取り付けることができます。

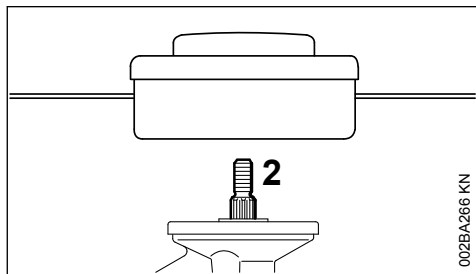


0000-GXX0500-A0

カuttingアタッチメントによってはナット (3) やライダープレート (2) を使用する必要があります。すべてのカuttingアタッチメントは、スラストプレート (1) と共に使用する必要があります。

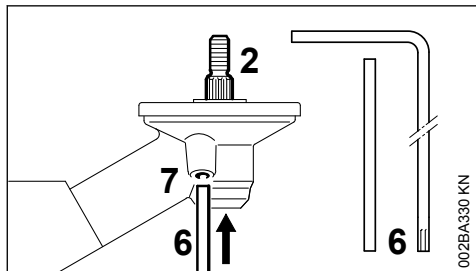
これらの部品は機械と共に提供されるキットに含まれており、特殊アクセサリとしても入手することができます。

9.2.2 取り付け用部品が同梱されていない機械



シャフト (2) に直接取り付ける草刈ヘッドのみを使用できます。

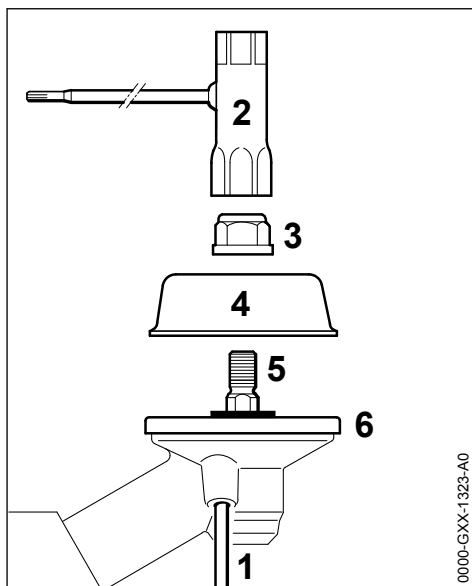
9.3 シャフトの固定



出力シャフト (2) をストップピン (6) またはドライバー (6) で固定してから、カuttingアタッチメントの着脱を行う必要があります。これらの部品は、機械に標準装備されているか、特殊アクセサリとして供給されます。

- ▶ ストップピン (6) またはドライバー (6) をギアボックスの穴 (7) に止まるまで差し込みます - その後、わずかに押します。
- ▶ ストップピンが所定の位置にはまり、シャフトが固定されるまで、シャフト、ナットまたはカuttingアタッチメントを回します。

9.4 固定用パーツの取り外し



- ▶ シャフト (5) をストップピン (1) で固定します。
- ▶ コンビネーションレンチ (2) を使用してナット (3) を時計回り(左ネジ)に回転させて緩め、取り外します。
- ▶ ライダープレート (4) をシャフト (5) から外します。スラストプレート (6) は外さないでください。

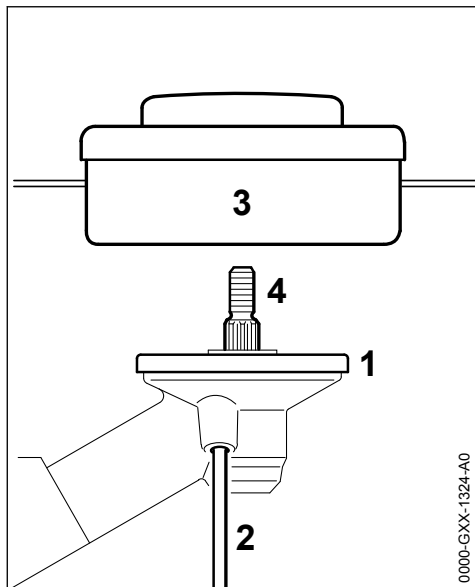
9.5 カuttingアタッチメントの取付け



飛散物やカuttingアタッチメントとの接触によって負傷する危険があります。カuttingアタッチメントに適合するデフレクターを使用してください - 「デフレクターの取付け」を参照。

9.6 スクリュー取り付け部付き草刈ヘッドの取付け

草刈ヘッドの取扱説明書は安全な場所に保管してください。



0000-GXX-1324-A0

- ▶ スラストプレート(1)を取り付けます。
- ▶ 草刈ヘッド(3)を反時計回りに止まるまでシャフト(4)にねじ込みます。
- ▶ シャフト(4)をストップピン(2)で固定します。
- ▶ 草刈ヘッド(3)をしっかり締め付けます。

注記

シャフト固定用ツールを抜き取ります。

9.7 草刈ヘッドの取り外し

- ▶ シャフト(4)をストップピン(2)で固定します。
- ▶ 草刈ヘッド(3)を時計回りに回転させて外します。

9.8 金属製カuttingアタッチメントの取付け

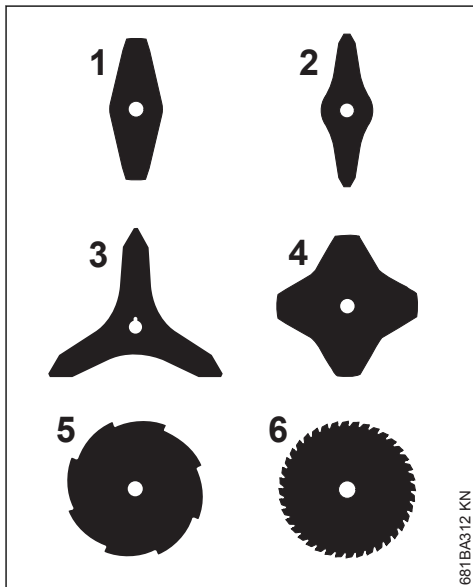
金属製カuttingアタッチメントのパンフレットとパッケージは安全な場所で保管してください。

警告

保護手袋を着用し、鋭利な刃先に直接触れる危険を低減してください。

- 1 個の金属製カuttingアタッチメントだけを取り付けてください。

カuttingアタッチメントは正しい向きに装着してください。

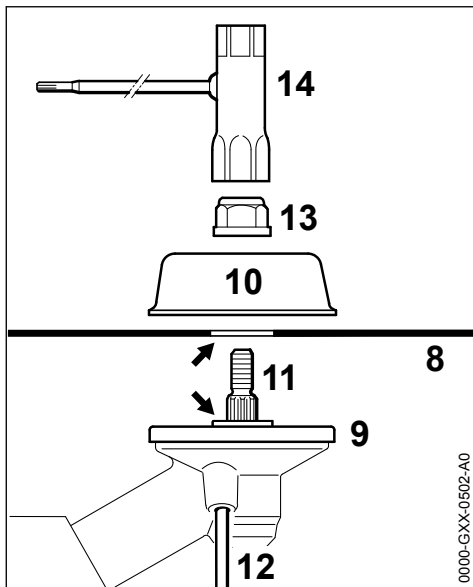


681BA312 KN

図 1、2、3、4 のカuttingアタッチメントは、どちら向きにも取り付けることができます - これらのカuttingアタッチメントは、片側だけが磨耗しないよう定期的に向きを変えて使用する必要があります。

5 と 6 のカuttingアタッチメントの刃先は、時計方向に向ける必要があります。

回転方向は、デフレクターの内側に矢印で表示されています。



000C-GXX-0502-A0

- ▶ スラストプレート (9) を取り付けます。
- ▶ カuttingアタッチメント (8) をスラストプレート (9) に載せます。

カラー (矢印) をカuttingアタッチメントの取り付け穴にはめてください。

カuttingアタッチメントの固定

- ▶ ライダープレート (10) を取り付けます。
- ▶ シャフト (11) をストップピン (12) で固定します。
- ▶ コンビネーションレンチ (14) を使用して取り付けナット (13) を反時計回りに回して出力シャフトにねじ込み、しっかりと締め付けます。

警告

カuttingアタッチメントが外れると、ケガをする危険があります。取り付けナットが緩くなりすぎた場合は、新しいナットに交換してください。

注記

シャフト固定用工具を抜き取ります。

9.9 金属製カuttingアタッチメントの取り外し

警告

保護手袋を着用し、鋭利な刃先に直接触れる危険を低減してください。

- ▶ シャフト (11) をストップピン (12) で固定します。
- ▶ 取り付けナット (13) を時計回りに回して取り外します。
- ▶ カuttingアタッチメントとその取り付け用部品をギアボックスから取り外します。ただし、スラストプレート (9) は外さないでください。

10 燃料

エンジンには、ガソリンとエンジンオイルの混合燃料が必要です。

警告

燃料に直接触れたり、ガソリンの気化ガスを吸い込んだりしないよう注意してください。

10.1 STIHL MotoMix (モトミックス)

STIHL 社では、STIHL MotoMix の使用をお勧めしています。このあらかじめ混合された燃料はベンゼンや鉛を含まず、高オクタン価を特徴とし、常に適切な混合比をもたらします。

STIHL MotoMix には、エンジン寿命を最長化するために STIHL HP Ultra 2 ストロークエンジンオイルが使用されています。

MotoMix は、販売されていない市場もあります。

10.2 燃料の混合

注記

仕様と異なる不適切な燃料や混合比を用いると、エンジンに重度の損傷が生じるおそれがあります。低品質のガソリンやエンジンオイルは、エンジン、ガスケット、燃料ライン、燃料タンクを損傷させることがあります。

10.2.1 ガソリン

オクタン価が 90 以上の**高品質ガソリン**だけを使用してください。無鉛、有鉛は問いません。

アルコール濃度が 10% を超えるガソリンは、手動調整可能キャブレター付きエンジンではエンジン性能を低下させるおそれがあるため、そうしたエンジンには使用しないでください。

M-Tronic 搭載エンジンは、アルコール濃度が 27% までのガソリン(E27)を使用して本来の性能を発揮します。

10.2.2 エンジンオイル

ご自身で燃料を混合する場合は、STIHL 2 ストロークエンジンオイルまたは JASO FB、JASO FC、JASO FD、ISO-L-EGB、ISO-L-EGC あるいは ISO-L-EGD に準拠する他の高性能エンジンオイルを使用してください。

機械が寿命に達するまでの全期間で排ガス基準が満たされるよう、STIHL 社では STIHL HP Ultra(ウルトラ) 2 ストロークエンジンオイルまたは同等の高性能エンジンオイルの使用を指定しています。

10.2.3 混合比率

1:50 の比率で STIHL 2 ストロークエンジン オイルとガソリンを混合してください(オイル 1 に対してガソリン 50)。

10.2.4 例

ガソリン量	STIHL 2 ストロークエンジンオイル 1:50
リットル	リットル (ml)
1	0.02 (20)
5	0.10 (100)
10	0.20 (200)
15	0.30 (300)
20	0.40 (400)
25	0.50 (500)

▶ 承認されている安全な燃料容器にオイルを注入してからガソリンを加え、完全に混ぜ合わせます。

10.3 混合燃料の保管

燃料は承認されている安全な燃料容器に入れ、乾燥して涼しく、安全な、照明や太陽光から保護された場所に保管します。

混合燃料は時の経過に伴って劣化します - 数週間分の必要量だけを混合してください。混合燃料は 30 日以上保管しないでください。照明、太陽光、低温、高温にさらすと、混合燃料はより短期間で使用できなくなることがあります。

STIHL MotoMix は、問題なく最長 5 年間保管することができます。

▶ 混合燃料が入った容器(携行缶)をよく振ってから給油してください。



警告

携行缶の内圧が高まっている可能性があるため、キャップは慎重に開けてください。

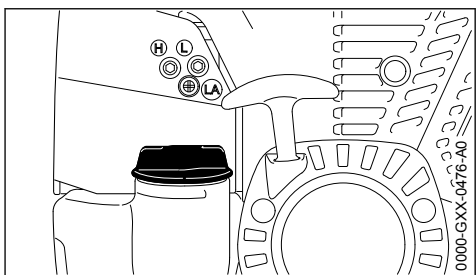
▶ 混合燃料を保管する燃料タンクや容器は、ときどき徹底的に清掃してください。

残存する燃料や清掃に使用した液体は、規制に従って環境に害を及ぼさないように廃棄してください!

11 給油

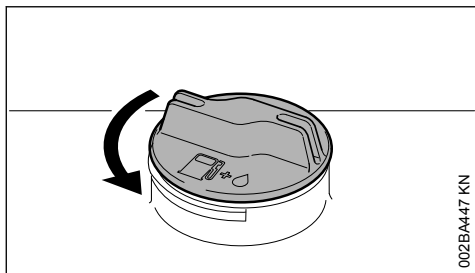


11.1 準備



- ▶ 給油する前に、汚れがタンクの中に入るのを防ぐために、タンクキャップとその周囲を清掃してください。
- ▶ タンクキャップが上を向くように本機を置いてください。

11.2 タンクキャップを開ける



002BA447 KN

- ▶ タンク開口部から外れる状態になるまで、キャップを反時計回りに回転させます。
- ▶ タンクキャップを取り外します。

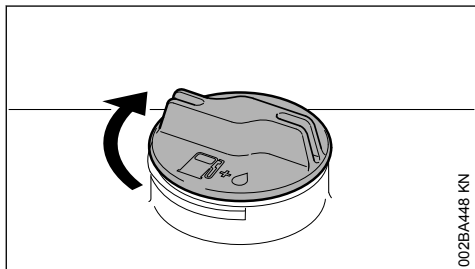
11.3 燃料の補充

給油時は、燃料をこぼしたり、あふれさせたりしないよう注意してください。

STIHL 社では、燃料用 STIHL フィラーノズル (特殊アクセサリ) の使用をお勧めしています。

- ▶ 燃料を補充します。

11.4 タンクキャップを閉じる

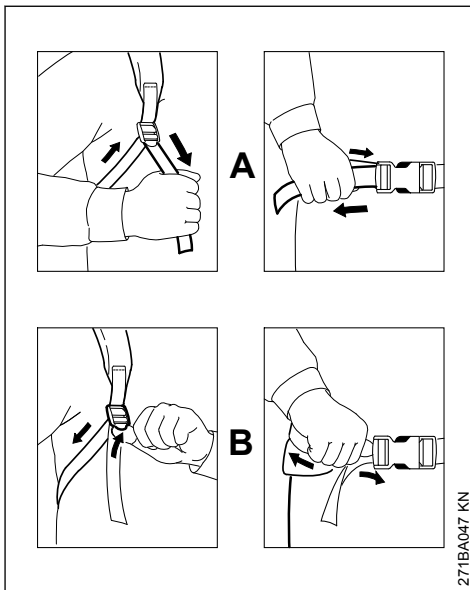


002BA448 KN

- ▶ キャップを開口部に載せます。
- ▶ キャップを時計回りに止まるまで回転させます。手でできるだけきつく締め付けてください。

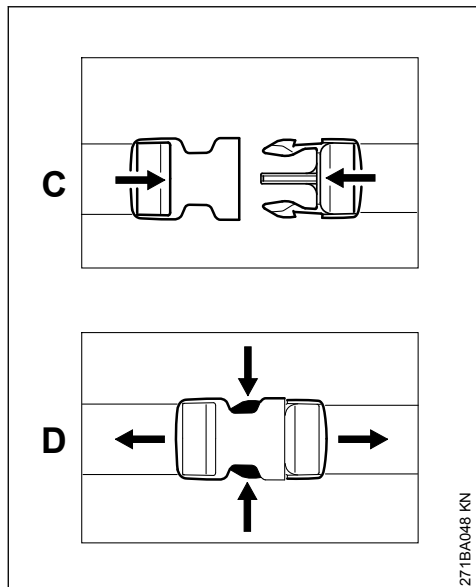
12 サポート フレーム

12.1 ハーネスストラップの調整



271BA047 KN

- A ストラップの両端を下方方向に引き、ハーネスを締め付けます。
- B アジャスターのタブを持ち上げて、ストラップを緩めます。

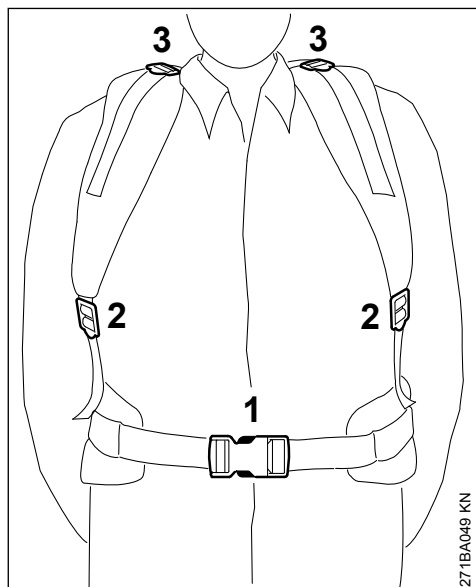


271BA048 KN

C クイックリリース ファスナーを押し込み、閉じてロックします。

D フックを強く押し、クイックリリース ファスナーを外します。

12.2 バックパックの取り付け



271BA049 KN

- ▶ 腰ベルト (1) を閉じてロックし、腰にゆったりフィットするように調整します。
- ▶ 適切な長さにハーネス ストラップ (2) を調整します。
- ▶ ストラップ (3) を使用して、ハーネスを適切なサイズに調整します。

バック パッドが背中にしっかりフィットするように固定します。

12.3 バックパックの取り外し

- ▶ 腰ベルトのクイックリリース ファスナーを外します。
- ▶ スライディング アジャスターを持ち上げてハーネス ストラップを緩めてから、バックパックを外します。

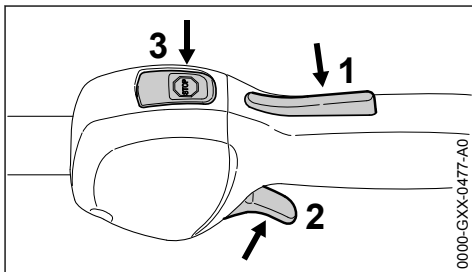
12.4 緊急時の機械の取り外し



緊急時には、機械とバックパックを素早く取り外す必要があります。機械を地面に下ろす前に、腰ベルトを必ず外してください。

13 エンジンの始動と停止

13.1 操作部



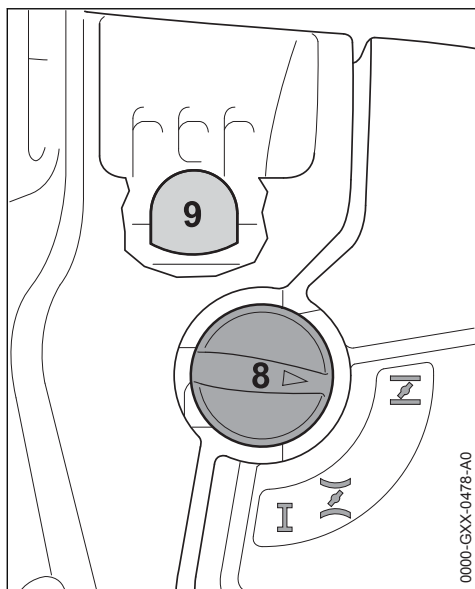
0000-GXX-0477-A0

- 1 スロットルトリガーロックアウト
- 2 スロットルトリガー
- 3 運転および停止位置の停止スイッチ。停止スイッチ (⊖) を押してイグニッションをオフにします - 「停止スイッチとイグニッションシステムの機能」を参照してください。

13.1.1 停止スイッチとイグニッションシステムの機能

停止スイッチを押すと、イグニッションスイッチがオフになり、エンジンが停止します。停止スイッチを放すと、停止スイッチは自動的に通常運転位置に戻ります。エンジンが停止した後、イグニッションスイッチが再度オンになります - この状態では、エンジンの始動準備が整っています。

13.2 エンジンの始動

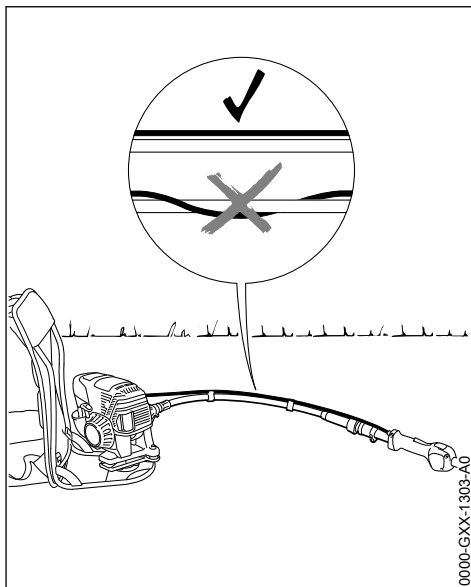


- ▶ 手動燃料ポンプ (9) を最低 5 回押してください - ポンプにすでに燃料が充填されている場合でも、同様の操作を行います。
- ▶ チョークノブ (8) を押し込みながら、エンジン温度に適した以下の位置に回します：

I エンジンが冷えている場合
II 暖機スタートの場合 - エンジン始動後、暖ま
 りきっていない場合もこの位置を使用しま
 す。

チョークノブは、上記の位置に確実に合わせてく
 ださい。

13.2.1 始動操作

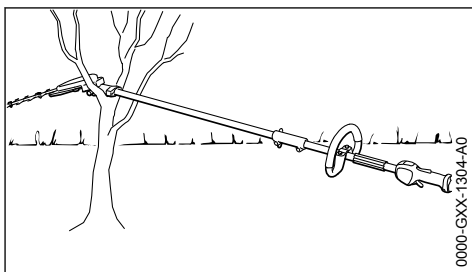


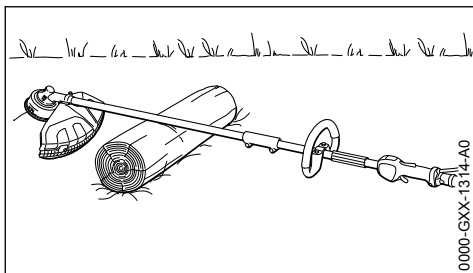
- ▶ 機械を地面に置いてください。安定した状態になっているか確認します。
- ▶ フレキシブルシャフトをできるだけ真直ぐにします。

! 警告

スロットルケーブルは、フレキシブルシャフトに
 巻き付けずに平行に配置します。

- ▶ 装着されている場合：運搬用ガードをアタッチ
 メントから取り外します。

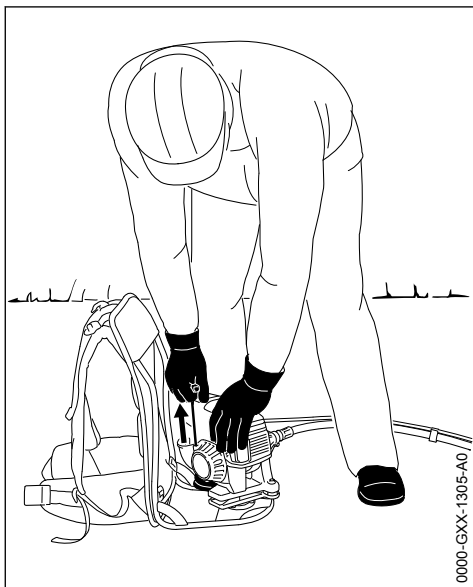




- ▶ 地面と接触しないよう、コンビツールのギアボックスを高さのある支持物(台や分岐した枝等)に乗せます。

警告

事故が生じる危険を低減するために、アタッチメントとガードが地面や他の障害物と接触していないことを確認します。



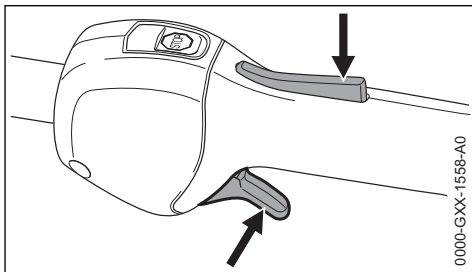
- ▶ 立つか、かがむか、ひざまずいて、安定した足場を確保します。
- ▶ 機械のシユラウドを左手でしっかりと押さえ、片足をサポートフレームに乗せ、押し付けます。
- ▶ 右手でスターターグリップを握ります。
- ▶ スターターグリップをゆっくりと引き、かみ合った感じがしたら、素早く勢い良く引っ張ります。

注記

スターターロープは最後まで引き出さしないでください - 切れるおそれがあります。

- ▶ スターターグリップを急に放さしないでください。手を添えてハウジング内にゆっくりと戻すと、スターターロープは適切に巻き込まれます。
- ▶ エンジンがかかるまで始動操作を続けます。

13.2.2 エンジンがかかったらすぐに



- ▶ スロットルトリガーロックアウトを押し下げて、スロットルを開きます - チョークノブが運転位置 I に移動します。冷機スタートの後では、スロットルを数回開いてエンジンを暖めます。

警告

エンジンのアイドルング中にコンビツールが回転してケガをする危険があります。エンジンのアイドルング中にコンビツールが回転しないよう、キャブレターを調整してください - 「キャブレターの調整」を参照してください。

これで機械の使用準備が完了しました。

13.3 エンジンの停止

- ▶ 停止スイッチ(モーメンタリースイッチ)を押します - エンジンが停止します - 停止スイッチを放します - 運転位置に戻ります。

13.4 始動に関するその他の注意事項

エンジンが冷機スタート位置 **I** または加速状態でストールする。

- ▶ チョークノブを **II** に移動して、エンジンがかかるまで始動操作を繰り返します。

エンジンが暖機スタート位置 **II** でかからない

- ▶ チョークノブを **I** に移動し、エンジンがかかるまで始動操作を繰り返します。

エンジンがかからない場合

- ▶ すべての設定が正しいか確認します。

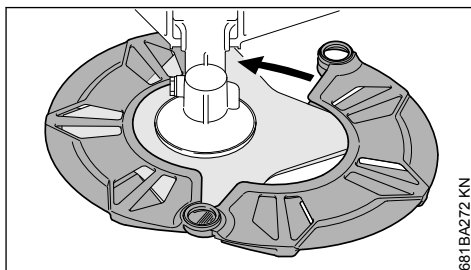
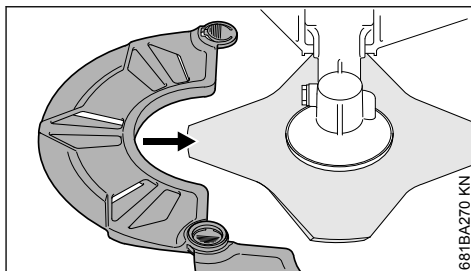
- ▶ 燃料タンク内に燃料があるか確認し、必要に応じて給油します。
- ▶ スパークプラグターミナルが適正に接続されているか確認します。
- ▶ 始動手順を繰り返します。

エンジン燃焼室への燃料吸い込みすぎ

- ▶ チョークノブをIに合わせ、エンジンがかかるまで始動操作を繰り返します。

燃料タンクが完全に空になった場合

- ▶ 再給油後、手動燃料ポンプにすでに燃料が充填されている場合でも、燃料ポンプを最低5回押ししてください。
- ▶ チョークノブをエンジン温度に合った位置に合わせます。
- ▶ エンジンを再始動します。

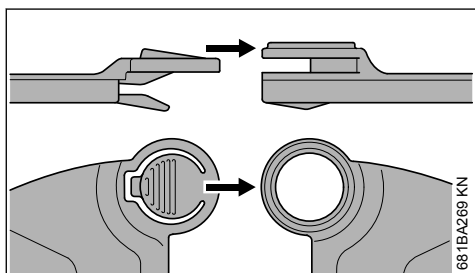
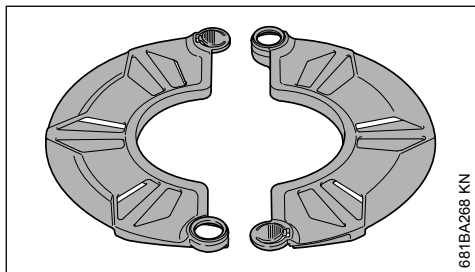


14 機械の運搬

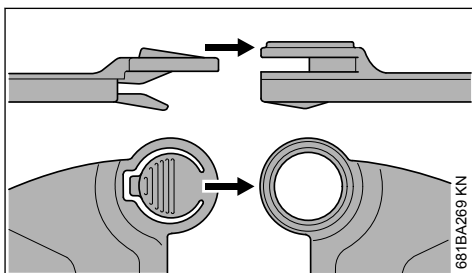
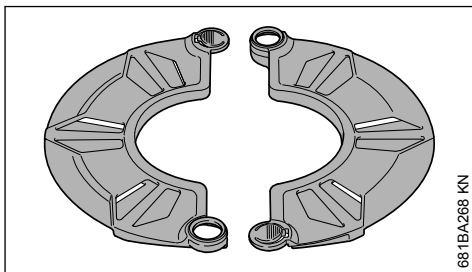
14.1 運搬用ガードの使用

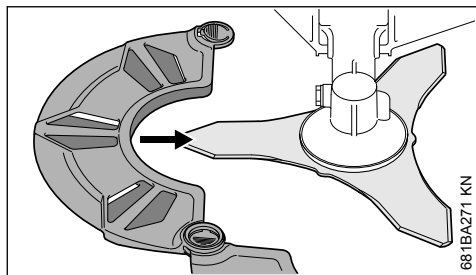
運搬用ガードの種類は、機械に同梱されている金属製カッピングアタッチメントによって異なります。運搬用ガードは、特殊アクセサリとして入手することができます。

14.2 230 mm 草刈ブレード

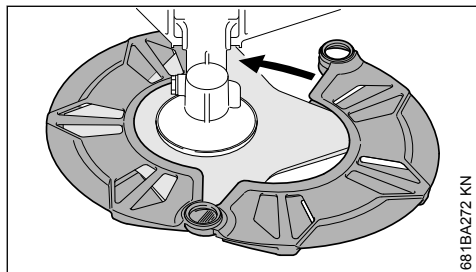


14.3 250 mm ブラシナイフ

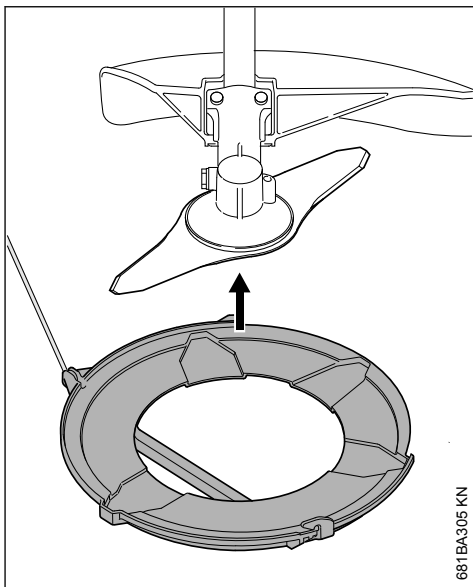




681BA271 KN

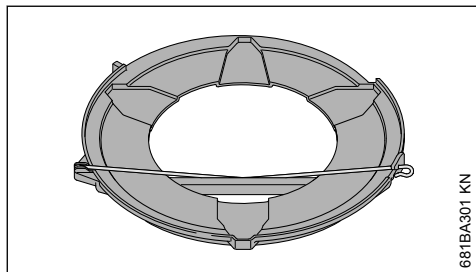


681BA272 KN

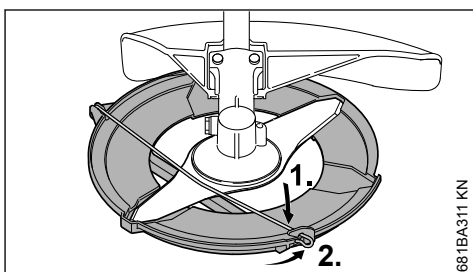


681BA305 KN

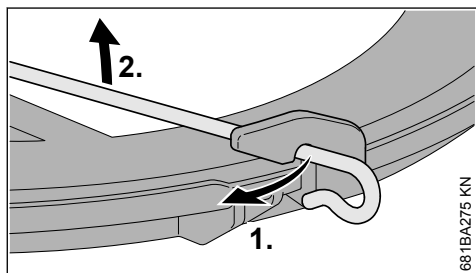
14.4 260 mm までの草刈ブレード



681BA301 KN



681BA311 KN



681BA275 KN

- ▶ 運搬用ガードからワイヤーロッドを外します。
- ▶ ワイヤーロッドを外側に回転させます。

- ▶ 運搬用ガードを下側からカッティングアタッチメントに取り付けます。

- ▶ ワイヤーロッドを所定の位置に合わせます。
- ▶ ワイヤーロッドを運搬用ガードに引っ掛けます。

15 作業中の注意事項

15.1 ならし運転

新品の機械は、最初の燃料3タンク分の間は、高速回転(無負荷でフルスロットル)で運転しないでください。これでならし運転中の不要な高負荷を避けます。すべての動く部品は、ならし運転中になじんでくるので、この期間はエンジンの摩擦抵抗が大きくなっています。エンジンの最高出力を発揮できるのは、タンク5~15回分の使用後となります。

15.2 作業中

長時間のフルスロットル運転後は、しばらくの間アイドリングしてエンジンの熱を冷却風で放熱してください。組み込まれている部品(イグニッションやキャブレター)を熱から守るためです。

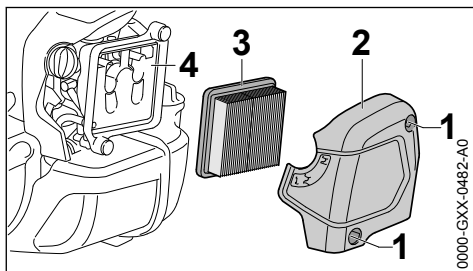
15.3 作業後

短期間使用しない場合：エンジンが冷えるまで待ちます。燃料タンクを空にして、次の使用時まで火気のない乾燥した状態で保管します。長期間に未使用の場合は、「機械の保管」を参照してください。

16 エアーフィルターの交換

フィルターの平均寿命は、1年以上です。出力が顕著に低下しないかぎり、フィルターカバーを取り外したり、エアーフィルターを交換したりしないでください。

16.1 エンジン出力が著しく低下した場合



- ▶ チョークノブを Ⅰ の位置に回します。
- ▶ スクリュー (1) を緩めます。
- ▶ フィルターカバー (2) を取り外します。
- ▶ フィルター周囲の浮いた汚れを取り除きます。
- ▶ フィルターエレメント (3) を取り外します。
- ▶ 汚れているか、損傷しているフィルターエレメント (3) は交換してください。
- ▶ 損傷した部品は交換してください。

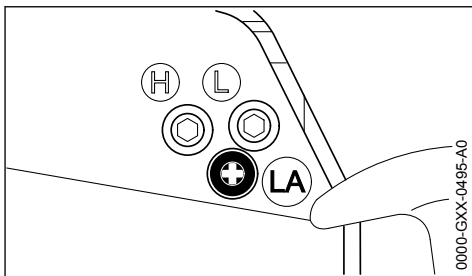
16.2 フィルターエレメントの取り付け

- ▶ フィルターエレメント(3)をフィルターハウジングに取り付け、カバーを取り付けます。
- ▶ スクリュー (1) を差し込み、しっかりと締め付けます。

17 キャブレターの調整

キャブレターは、大半の運転条件下で混合気が最適化されるよう工場出荷時に設定されています。

17.1 アイドリング回転数の調整

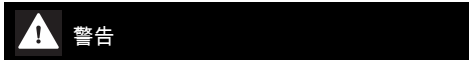


アイドリング回転中にエンジンが停止する場合

- ▶ エンジンを約 3 分間、暖機します。
- ▶ エンジンの回転がスムーズになるまでアイドリングスピード調整スクリュー (LA) を時計回りにゆっくりと回転させます - カutting アタッチメントは停止していなければなりません。

アイドリング回転中にCuttingアタッチメントが回転する場合

- ▶ Cuttingアタッチメントが停止するまでアイドリングスピード調整スクリュー (LA) を反時計回りにゆっくりと回転させた後、同一方向にさらに 1/2 回転から 3/4 回転させます。



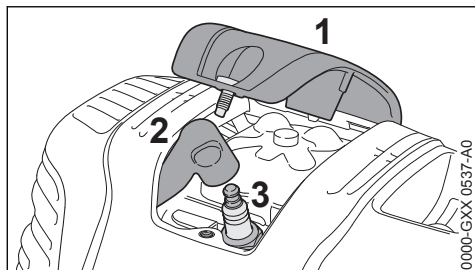
警告

アイドリング中にCuttingアタッチメントが回転し続ける場合は、STIHL サービス店に点検と修理を依頼してください。

18 スパークプラグ

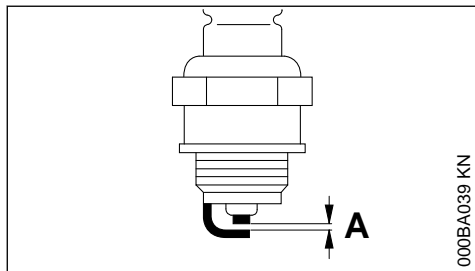
- ▶ エンジンの出力が低下したり、始動しにくくなったりアイドリングが不安定になったら、先ずスパークプラグを点検してください。
- ▶ 約 100 時間運転後には新品のスパークプラグと交換してください - 電極が極度に焼損している場合はそれよりも早く交換してください。スチール社が承認した、雑音防止スパークプラグのみをご使用ください - 「技術仕様」の項を参照してください。

18.1 スパークプラグの取り外し



- ▶ カバー (1) を取り外します。
- ▶ スパークプラグターミナル (2) を抜き取りま
す。
- ▶ スパークプラグ (3) を緩めます。

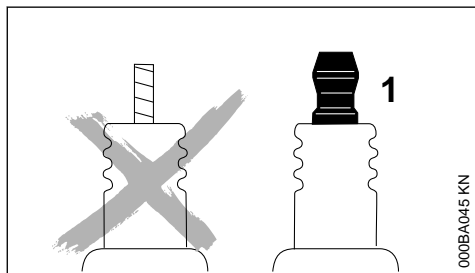
18.2 スパークプラグの点検



- ▶ 汚れたスパークプラグをきれいにします。
- ▶ 電極ギャップ(A)を点検して、必要な場合は調
整します - 数値は「技術仕様」の項を参照して
ください。
- ▶ 以下のような、スパークプラグが汚れる原因を
排除してください。

原因：

- エンジンオイル混合量の過多
- エアフィルターの汚れ
- 劣悪な使用環境



警告

アダプターナット (1) が緩んでいるか、外れてい
る場合はアーグが発生することがあります。発
火または爆発が起きやすい環境下で作業を行
うと、実際の火災または爆発が発生する恐れ
があります。この場合、作業員が重傷を負つた
り、建物に損傷を与えたりする可能性があります。

- ▶ 抵抗入タイプのスパークプラグを使用し、アダ
プターナットをしっかりと締め付けてくださ
い。

18.3 スパークプラグの取り付け

- ▶ スパークプラグ (3) をシリンダーにねじ込み
ます。
- ▶ コンビネーションレンチを使用してスパーク
プラグ (3) を締め付けます。
- ▶ ターミナル (2) を確実にスパークプラグに押
し込みます。
- ▶ カバー (1) を取り付け、しっかりと締め付けま
す。

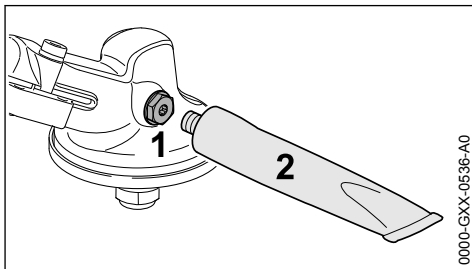
19 エンジンの動作

エアフィルターを掃除してキャブレターを適
切に調整しても、エンジンの動作が不十分な場
合は、マフラーが原因の可能性がありま
す。

マフラーが汚れていないか (カーボンで詰まる)、
スチール サービス店で点検してください。

当社では整備や修理を、認定を受けたスチール サ
ービス店のみに依頼されることをお勧めしま
す。

20 ギヤボックスの注油



運転 25 時間ごとにグリース量を点検し、必要に
応じて再注油してください。

- ▶ スクリュープラグ (1) を取り外します。
- ▶ スクリュープラグ (1) の内側にグリースが見
えない場合：STIHL ギヤグリース(特殊アクセ
サリー)のチューブ (2) を注入口にねじ込みま
す。
- ▶ 5 g (1/5 oz) 以下のグリースをギヤボックスに
注油します。

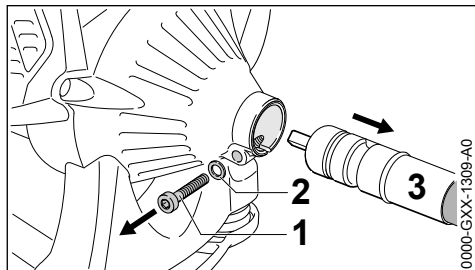
注記

ギアボックスいっぱいにはグリースを注入しないでください。

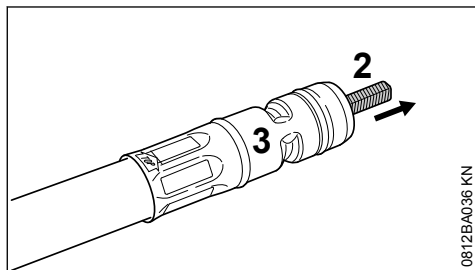
- ▶ チューブ (2) を緩めて外します。
- ▶ スクリュープラグ (1) を差し込み、しっかりと締め付けます。

21 フレキシブル シャフトの潤滑

- ▶ グリース量を定期的に - 約 25 運転時間毎に - 点検してください。



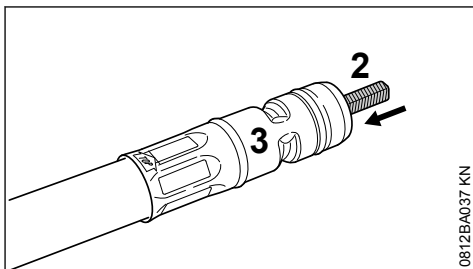
- ▶ スクリュー (1) を緩め、ワッシャー (2) と共に取り外します。
- ▶ フレキシブルシャフト (3) を引き抜きます。



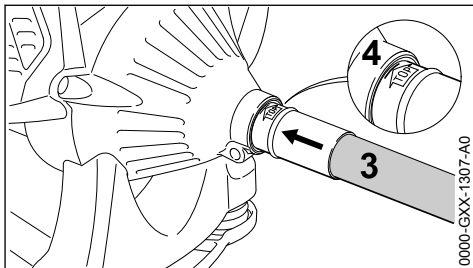
- ▶ フレキシブルシャフト (2) を保護チューブ (3) から引き抜きます。
- ▶ フレキシブルシャフトの取り付け位置に印を付けます。
- ▶ シャフトに STIHL 多目的グリース (特殊アクセサリー) を均等に塗布します。塗布しすぎないでください。

注記

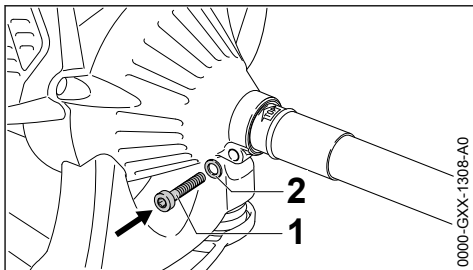
ドライブシャフトが青色に変色している場合は、新品と交換してください。



- ▶ フレキシブルシャフト (2) を保護チューブ (3) に戻し、元の取り付け位置から 180° 回転させ、止まるまで押し込みます。



- ▶ フレキシブルシャフトをパワーヘッド (4) 内に完全に押し込みます - シャフトを左右に回転させながら押し込んでください。
- ▶ フレキシブルシャフトの位置を合わせます - "Top" の文字を上側に向けてください。



- ▶ スクリュー (1) をワッシャー (2) と共に差し込み、しっかりと締め付けます。

22 機械の保管

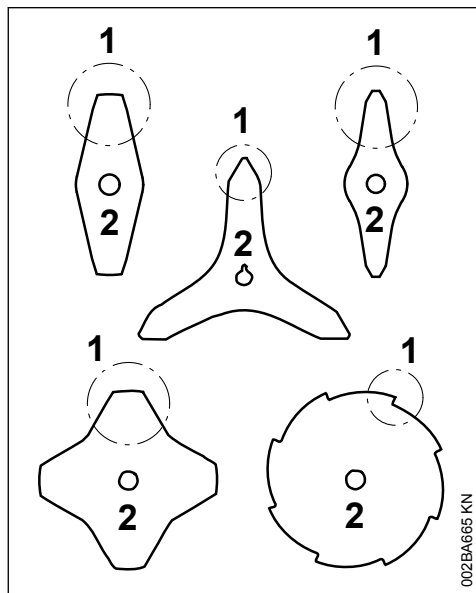
約 30 日以上使用しない場合

- ▶ 換気の良い場所で燃料タンクを空にし、洗浄します。

- ▶ 燃料は、地域の環境規制に従って処分してください。
- ▶ 手動燃料ポンプが装着されている場合は、手動燃料ポンプを5回以上押します。
- ▶ エンジンを始動し、停止するまでアイドルリングさせます
- ▶ カッティング アタッチメントを取り外し、きれいに点検してください。金属製カッティング アタッチメントを保護オイルで処理します。
- ▶ 機械を丁寧に掃除します
- ▶ エアフィルターの清掃
- ▶ 機械を乾いた安全な場所に保管してください。子供などによる許可外の使用を避けてください

23 金属製カッティング ブレードの目立て

- ▶ 目立てやすり (特殊アクセサリ) を使用して、切れ味が悪くなったカッティングアタッチメントを目立てします。磨耗が激しい場合は: グラインダーを使って目立てをするか、販売店に作業を依頼してください - STIHL 社では、STIHL サービス店に依頼されることをお勧めしています。
- ▶ 目立ては頻繁に行い、刃先をごくわずかだけ削ります。通常の日立てでは、やすりを2~3回当てるだけで十分です。



- ▶ 刃先 (1) を均一に目立てします - 元刃 (2) の輪郭は変更しないでください。

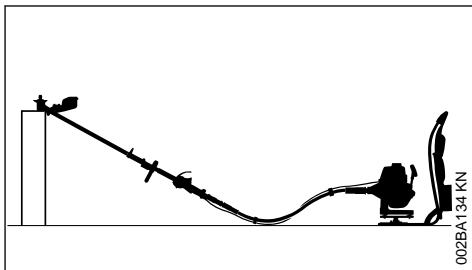
目立て方法に関する追加情報については、カッティングアタッチメントのパッケージを参照してください。パッケージは、参考用に保管してください。

23.1 バランスをとる

- ▶ 5回程度やすりがけした後は、STIHL バランサー (特殊アクセサリ) でカッティングアタッチメントのバランスが崩れていないか確認するか、販売店に確認を依頼し、必要に応じて再びバランスとり作業を行ってください - STIHL 社では、STIHL サービス店に依頼されることをお勧めしています。

24 カッティング ヘッドの保守

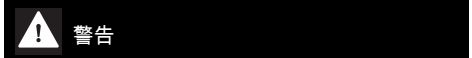
24.1 パワーツールを地面に置く



- ▶ エンジンを停止します。
- ▶ カッティング アタッチメント装着部が上向きになるように、パワーツールを配置します。

24.2 ナイロンラインの交換

必ず草刈ヘッドが摩耗していないか点検してからナイロンラインを交換してください。



摩耗がひどい場合、草刈ヘッド一式を交換してください。

以降では、ナイロンカッティングラインを「ナイロンライン」または「ライン」と呼びます。

草刈ヘッドには、ナイロンラインの交換に関するイラスト付きの説明書が同梱されています。草刈ヘッドの取扱説明書は安全な場所に保管してください。

- ▶ 必要に応じて、草刈ヘッドを取り外します。

24.3 ナイロンラインの送り出し調整

STIHL スーパーカット

ラインが最低 6 cm (2 1/2 インチ) 残っている場合は、新しいラインが、自動的に送り出されま

す。長すぎるラインは、デフレクターのブレードで適切な長さに切り揃えられます。

STIHL オートカット

- ▶ エンジンを作動させ、草刈ヘッドを回転させたまま草地の上方で保持します。
- ▶ 地面上で軽く叩きます - 新しいラインが送り出され、デフレクターのブレードで適切な長さに切り揃えられます。

草刈ヘッドで地面を軽く叩くたびに新しいラインが送り出されます。そのため、作業中は草刈ヘッドの切断性能を観察してください。草刈ヘッドで地面を頻繁に叩き過ぎると、ナイロンラインの未使用部分がライン制限ブレードによって不必要に切り落とされます。

両方のラインが最低 **2.5 cm (1 in)** 残っていれば、ラインは送り出されます。

STIHL トリムカット



警告

ケガをする危険を減らすために、必ずエンジンを停止してから手でナイロンラインを調整してください。

- ▶ スプールを引き上げ - かみ合うまで反時計回りに約 1/6 回転させ - 跳ね戻します。
- ▶ ラインの端を外側に引き出します。

両方のラインがデフレクターのライン制限ブレードに達するまで、上記の手順を必要に応じて繰り返します。

スプールが停止位置から次の停止位置まで回転すると、新しいラインが約 **4 cm (1 1/2 in)** 繰り出されます。

24.4 ナイロンラインの交換

STIHL ポリカット

カッティングブレードの代わりに、事前に所定の長さに切断したナイロンラインをポリカットに取り付けることができます。

STIHL デュロカット、STIHL ポリカット



警告

ケガをする危険を減らすために、必ずエンジンを停止させてから草刈ヘッドの詰め替えを行ってください。

- ▶ 同梱されている取扱説明書の説明に従い、事前に切断したナイロンラインを草刈ヘッドに取り付けます。

24.5 カッティングブレードの交換

24.5.1 STIHL ポリカット

新しいカッティングブレードを取り付ける前に、必ずカッティングヘッドが磨耗していないか点検してください。



警告

磨耗がひどい場合、カッティングヘッド一式を交換してください。

以降の部分では、プラスチックカッティングブレードを「ブレード」と呼びます。

カッティングヘッドは、ブレードの交換に関するイラスト付きの説明書が同梱されて納入されます。カッティングヘッドに関する取扱説明書を、安全な場所に保管してください。



警告

ケガの危険を低減するため、ブレードを取り付ける前に必ずエンジンを停止してください。

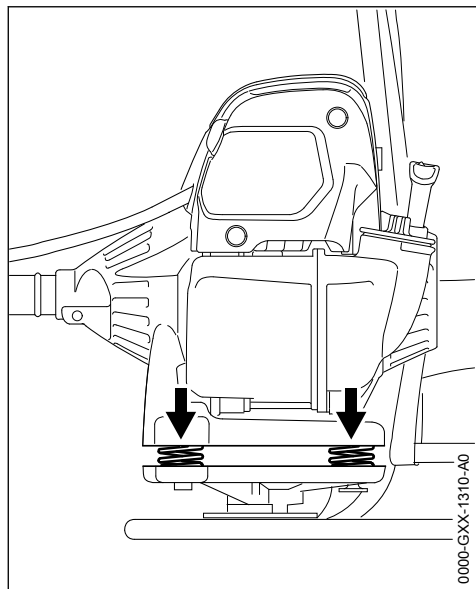
- ▶ カッティングヘッドを取り外します。
- ▶ イラスト付き説明書に図示されているようにブレードを交換します。
- ▶ カッティングヘッドを再び取り付けます。

25 スチール販売店による点検と保守

25.1 整備作業

STIHL 社では、認定を受けた STIHL サービス店のみに整備や修理を依頼されることをお勧めしています。

25.2 防振エレメント



パワーヘッドとサポートフレームの間には 4 個の防振スプリングが取り付けられています。磨耗の兆候が見られるが、振動が目立って増大した場合は、点検を受けてください。

26 整備表

以下の整備間隔は、標準的な作業条件用です。毎日の作業時間が長い、作業条件が過酷な場合（粉塵が極端に多い場所等）は、指定された間隔をそれに応じて狭めてください。		前 作業 開始前	日 毎 または 作業終了後	時 毎 燃料給 油時	週 毎	毎月	毎月 12カ月	時 故障時	時 損傷時	合 必要な場合
機械本体	目視検査 (状態と漏れ)	X		X						
	清掃		X							
	損傷した部品の交換	X							X	
コントロールハンドル	作動点検	X		X						
エアフィルター	目視検査					X		X		
	交換 ²⁾								X	
手動燃料ポンプ (装着されている場合)	点検	X								
	修理はサービス店に依頼してください ¹⁾								X	
燃料タンク内のピックアップポディ (フィルター)	点検はサービス店に依頼してください ¹⁾							X		
	交換はサービス店に依頼してください ¹⁾						X		X	X
燃料タンク	清掃							X		X
キャブレター	アイドルリング調整の点検 - カuttingアタッチメントが作動しないこと	X		X						

以下の整備間隔は、標準的な作業条件用です。毎日の作業時間が長い、作業条件が過酷な場合(粉塵が極端に多い場所等)は、指定された間隔をそれに応じて狭めてください。		高 速 回 転 機 械 の 作 業 時	日 毎 日 作 業 終 了 後	毎 日 作 業 時	毎 週	毎 月	毎 12 カ 月	故 障 時	損 傷 時	合 計 必 要 な 場 合
	アイドル回転数の調整									X
スパークプラグ	電極ギャップの調整							X		
	100 運転時間毎に交換									
冷却風吸入部	目視検査		X							
	清掃									X
シリンダーフィン	清掃はサービス店に依頼してください ¹⁾						X			
バルブクリアランス	出力が低下しているか、始動に大きな力が必要なときは、バルブクリアランスを点検し、必要に応じてサービス店に調整を依頼してください ¹⁾							X		X
燃焼室	150 運転時間毎にサービス店に清掃を依頼してください ¹⁾									X
すべての手の届くスクリユーとナット(調整スクリユーを除く)	締め直し									X
防振装置	点検	X						X		X
	交換はサービス店に依頼してください ¹⁾								X	
カッティングアタッチメント	目視検査	X		X						
	交換								X	
	締め付け状態の確認	X		X						
金属製カッティングアタッチメント	目立て	X								X
フレキシブルシャフト	点検				X					
	グリースの補給									X
ギアボックスの潤滑	点検				X					
	補充									X
安全ラベル	交換								X	

¹⁾STIHL 社では、STIHL サービス店の利用をお勧めしています。

²⁾エンジン出力が著しく低下した場合のみ

27 磨耗の低減と損傷の回避

本取扱説明書の記述を遵守して使用すると、機械の過度の磨耗や損傷が回避されます。

本機の使用、整備並びに保管は、本取扱説明書の記述に従って入念に行ってください。

特に以下の場合のように、安全に関する注意事項、取扱説明書の記述内容及び警告事項に従わずに使用したことに起因する全ての損傷については、ユーザーが責任を負います：

- スチールが許可していない製品の改造。

- 当製品への適用が承認されていない、適していない、または低品質のツールやアクセサリを使用。
- 指定外の目的に当製品を使用。
- スポーツ或いは競技等の催し物に当製品を使用。
- 損傷部品を装備したままで当製品を使用したことから生じる派生的損傷。

27.1 整備作業

「整備表」に列記されている作業は、必ず全て定期的に行ってください。整備作業を使用者が自ら行えない場合は、サービス店に依頼してください。

当社では整備や修理を、認定を受けたスチール サービス店のみに依頼されることをお勧めします。スチール サービス店には定期的にトレーニングを受ける機会が与えられ、必要な技術情報の提供を受けています。

上記整備作業を怠ったことが原因で生じた以下のような損傷に対しては、上記の例として、以下の部品が挙げられます：

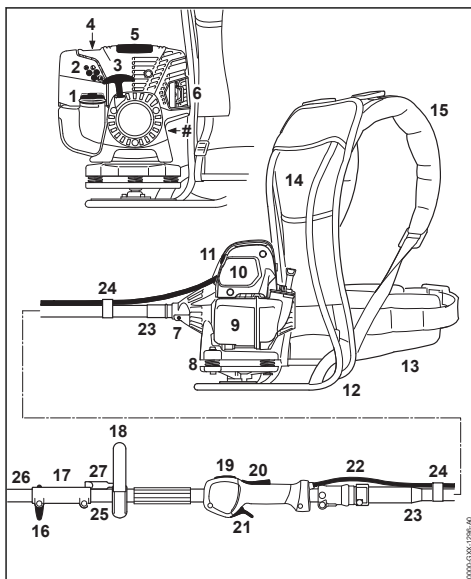
- 指定された時期に実施されなかった整備や不十分な整備(例：エアフィルター、燃料フィルター)、不適切なキャブレターの調整または不十分な冷却空気経路の掃除(エア吸入スリット、シリンダーフィン)が原因で生じたエンジンの損傷。
- 不適切な保管に起因する腐食およびその他の派生的損傷。
- 低品質の交換部品を使用したことによる本機の損傷。

27.2 磨耗部品

パワーツールの部品によっては、規定どおりに使用しても通常の磨耗は避けられません。これらの部品は、使用の種類や期間に合わせて適時に交換してください。上記の例として、以下の部品が挙げられます：

- カutting アタッチメント(全種)
- カutting アタッチメント固定用パーツ(ライダープレート、ナット等)
- カutting アタッチメント用デフレクター
- クラッチ
- フィルター(エアフィルター、燃料フィルター)
- リワインドスターター
- スパークプラグ
- 防振エレメント

28 主要構成部品



- 1 タンクキャップ
- 2 キャブレター調整スクリュー
- 3 スターターグリップ
- 4 手動燃料ポンプ
- 5 カバー
- 6 マフラー
- 7 スクリュー
- 8 防振エレメント
- 9 燃料タンク
- 10 エアフィルターカバー
- 11 チョークノブ
- 12 サポートフレーム
- 13 腰ベルト
- 14 バックパッド
- 15 ハーネス
- 16 ウィングスクリュー
- 17 カップリングスリーブ
- 18 ループハンドル
- 19 停止スイッチ
- 20 スロットルトリガーロックアウト
- 21 スロットルトリガー
- 22 スロットルケーブル
- 23 フレキシブルシャフト

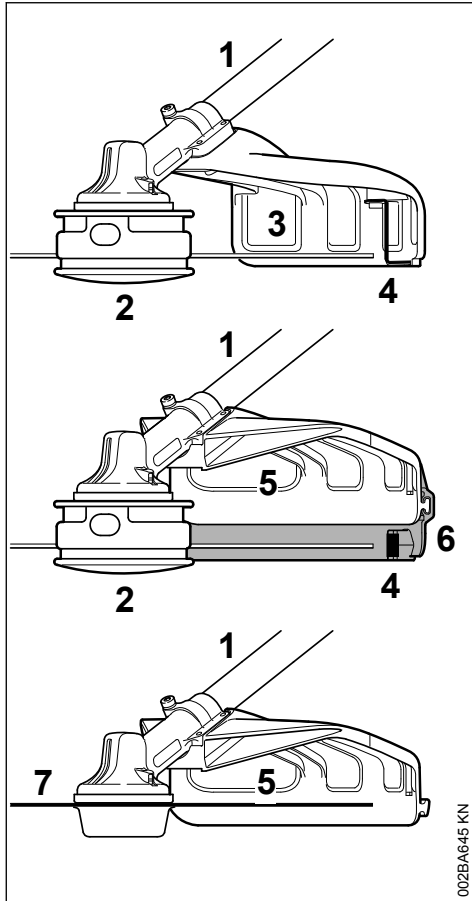
24 ケーブルホルダー

25 ドライブチューブ (基本パワーヘッド)

26 ドライブチューブ (コンビツール)

27 バリアパー

機械番号



002BAG45 KN

- 1 ドライブチューブ
- 2 草刈ヘッド
- 3 草刈ヘッド専用デフレクター
- 4 ブレード
- 5 すべてのカッティングアタッチメント用デフレクター
- 6 スカート
- 7 金属製カッティングアタッチメント

29 技術仕様

29.1 エンジン

STIHL 単気筒 4 ストロークエンジン(混合燃料使用)

排気量 :	36.3 cm ³
シリンダー径:	43 mm
ピストンストローク:	25 mm
ISO 8893 に準拠した出力:	1.4 kW (1.9 PS)
力:	8500 rpm 時
アイドリング回転数 :	2800 rpm
回転数制御範囲 (公称値) :	9500 rpm
出力シャフトの最高回転数 :	7150 rpm

(カッティングツールの取
付部):
バルブクリアランス
吸気バルブ : 0.10 mm
排気バルブ : 0.10 mm

29.2 イグニッションシステム

エレクトロニックマグネットイグニッション

スパークプラグ (雑音防
止) : NGK CMR 6 H,
STIHL ZK C 10,
BOSCH USR 4AC

電極ギャップ : 0.5 mm

29.3 燃料システム

燃料ポンプ搭載全方向ダイヤフラム式キャブレター

燃料タンク容量 : 710 cm³ (0.71 l)

29.4 重量

燃料なし、コンビツール FS-KM 付き、カッティングツールおよびデフレクターなしの状態
9.6 kg

29.5 全長

コンビツールなし : 1800 mm

29.6 装備の特徴

T 分割シャフト

29.7 騒音・振動数値

振動に関する事業者への指令 2002/44/EC の遵守の詳細については、

www.stihl.com/vib をご覧ください。

29.8 コンビツール FS-KM

音響値・振動値は、アイドリング回転数と最大定格回転数の運転状態を等しくして測定したものです。

29.8.1 ISO 22868 に準拠した音圧レベル L_{peq}

草刈ヘッド付き	97 dB(A)
金属製草刈ツール付き	97 dB(A)

29.8.2 ISO 22868 に準拠した音響パワーレベル L_{weq}

草刈ヘッド付き	110 dB(A)
金属製草刈ツール付き	109 dB(A)

29.8.3 ISO 22867 (最高回転数) に準拠した振動値 $a_{hv,eq}$

	左ハンドル	右ハンドル
草刈ヘッド付き :	4.7 m/s ²	4.3 m/s ²
金属製草刈ツール付き	3.9 m/s ²	2.9 m/s ²

29.9 他のコンピツール

仕様については、「承認されたコンピツール」を参照してください。

音響値と振動値の算出では、アイドル回転数と最大定格回転数は以下の比率で考慮されています :

FCS-KM、FCB-KM、FSB-KM、FH-KM、HT-KM	1 対 1
HL-KM	1 対 4
BF-KM、BG-KM	1 対 6

29.9.1 ISO 10517、ISO 11201、ISO 22868 に準拠した音圧レベル L_{peq}

92 dB(A)...101 dB(A)

29.9.2 ISO 3744、ISO 10517、ISO 22868 に準拠した音響パワーレベル L_w

109 dB(A)...110 dB(A)

29.9.3 ISO 3744、ISO 10517、ISO 22868 に準拠した音響パワーレベル L_{weq}

106 dB(A)...110 dB(A)

29.9.4 ISO 11789、ISO 20643、ISO 22867、ISO 8662 に準拠した振動値 $a_{hv,eq}$

左ハンドル

1.3 m/s²...8.5 m/s²

右ハンドル

1.3 m/s²...5.3 m/s²

指令 2006/42/EC に準拠した K-係数は、音圧レベルおよび音響出力レベルについて 2.0 dB(A) です。指令 2006/42/EC に準拠した K-係数は、振動加速度について 2.0 m/s² です。

29.10 REACH

REACH は EC の規定で、化学物質 (Chemical substances) の登録 (Registration)、評価 (Evaluation)、認可 (Authorisation)、規制を意味します。

REACH 規定 (EC) No.1907/2006 の遵守の詳細については、以下をご覧ください。

www.stihl.com

29.11 排気ガス

EU 型式認定手順で測定された CO₂ 値は、以下に記載されています -

www.stihl.com/co2

(製品ごとの技術データ)。

CO₂ 測定値は、代表的なエンジンを実験室の環境下で標準的な試験手順に従って測定した結果であり、特定のエンジンの性能を明示的、暗示的に保証する数値ではありません。

適用される排気ガス規制の要件は、本書に記載されている方法で機械を使用し、整備することによって満たされます。いかなる方法であれエンジンを改造すると、使用許可は無効になります。


30 整備と修理

本機を使用する方が実施できる保守および整備作業は、本取扱説明書に記載されていることだけです。それ以外の修理はすべてサービス店に依頼してください。

当社では整備や修理を、認定を受けたスチール サービス店にのみ依頼されることをお勧めします。スチール サービス店には定期的にトレーニングを受ける機会が与えられ、必要な技術情報の提供を受けています。

修理時には、当社が本機への使用を承認した、または技術的に同等な交換部品だけをご使用ください。高品質の交換部品のみを使用して、事故および本機の損傷を回避してください。

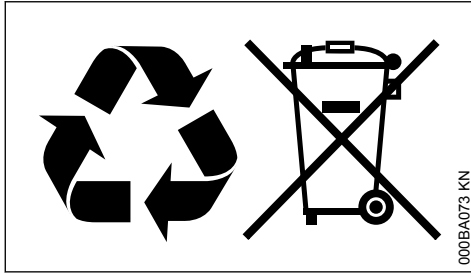
当社ではスチール オリジナルの交換部品のご使用をお勧めします。

スチール純正部品には、スチール部品番号、**STIHL** ロゴマークおよびスチール部品シンボルマーク  が刻印されています。(小さな部品では、シンボルマークだけが刻印されているものもあります。)

31 廃棄

廃棄に関する情報については、最寄りの行政機関または STIHL サービス店へお問い合わせください。

不適切な廃棄は、健康被害や環境汚染の原因になるおそれがあります。



- ▶ 現地の規制に従い、パッケージを含む STIHL 製品を適切な回収場所へ持ち込み、リサイクルしてください。
- ▶ 家庭ごみと共に廃棄しないでください。

32 EC 適合証明書

ANDREAS STIHL AG & Co. KG

Badstr. 115

D-71336 Waiblingen

Germany (ドイツ)

は、独占的な責任下で下記の製品が

名称:	背負式刈払機
メーカー名:	STIHL
型式:	FR 131 T
シリーズ番号:	4180
排気量:	36.3 cm ³

指令 2011/65/EU、2006/42/EC、2014/30/EU および 2000/14/EC の関連する条項に適合しており、製造日に有効であった次の規格の版に準拠して開発・製造されたことを保証いたします:

EN ISO 11806-2、EN 55012、EN 61000-6-1 (以下のコンビツールと関連: BF-KM、BG-KM、FCB-KM、FCS-KM、FH-KM、FS-KM、FSB-KM、HL-KM および HT-KM)

本書に記載した基本パワーツールは、STIHL 社がこの基本パワーツールに使用することを承認したコンビツールとのみ併用することができます。

音響出力レベルの測定値と保証値は、指令 2000/14/EC の付録 V および ISO 10884 (FS) 基準に準拠しています。

音響出力レベル測定値:

110 dB(A)

音響出力レベル保証値:

112 dB(A)

技術資料の保管場所:

ANDREAS STIHL AG & Co. KG

Produktzulassung

製品の製造年と機械番号は、機械本体に表示されています。

15.07.2021、Waiblingen にて発行

ANDREAS STIHL AG & Co. KG

代理人

Dr. Jürgen Hoffmann

Director Product Certification & Regulatory Affairs(製品認証&規制担当ディレクター)

CE

33 UKCA 適合宣言

ANDREAS STIHL AG & Co. KG

Badstr. 115

D-71336 Waiblingen

Germany (ドイツ)

は、独占的な責任下で下記の製品が

名称:	背負式刈払機
メーカー名:	STIHL
型式:	FR 131 T
シリーズ番号:	4180
排気量:	36.3 cm ³

英国の規制 - 電気・電子機器に含まれる特定有害物質の使用制限規制 2012、機械類の供給 (安全性) 規制 2008、電磁互換性規制 2016、屋外で使用する機器の環境内の騒音発生規制 2001 - の関連条項に準拠し、製造日に有効であった以下の基準の版に従って製造されました。

EN ISO 11806-2、EN 55012、EN 61000-6-1 (以下のコンビツールと関連: BF-KM、BG-KM、FCB-KM、FCS-KM、FH-KM、FS-KM、FSB-KM、HL-KM および HT-KM)

本書に記載した基本パワーツールは、STIHL 社がこの基本パワーツールに使用することを承認したコンビツールとのみ併用することができます。

音響出力レベルの測定値と保証値は、英国の規制である屋外で使用する機器の環境内の騒音発生規制 2001、一覽 8 と ISO 10884 (FS) 規格に準拠しています。

音響出力レベル測定値:

110 dB(A)

音響出力レベル保証値：

112 dB(A)

技術資料の保管場所：

ANDREAS STIHL AG & Co. KG

製造年と機械番号は、製品本体に表示されていません。

2021年7月15日、Waiblingenにて発行

ANDREAS STIHL AG & Co. KG

代理人



Dr. Jürgen Hoffmann

Director Product Certification & Regulatory
Affairs(製品認証&規制担当ディレクター)



www.stihl.com



0458-434-4321-B



0458-434-4321-B